

岩手県立博物館収蔵資料目録

第27集

考古X

小田島コレクション2次 その2

岩手県立博物館

2015

はじめに

岩手県立博物館は建設準備室の段階から広く県民各位のご協力により資料の所在確認調査と、それに基づく資料収集活動を行ってまいりました。

その一環として大正から昭和初期にかけて活躍された故小田島禄郎氏の考古資料、書簡類、図面類等さまざまな内容を持つコレクションを御寄贈いただき、資料を整理し、目録を刊行してまいりました。コレクションの寄贈は2次にわたり、1次については目録の刊行を終え、2次については、平成20年に「小田島コレクション2次 その1 考古資料編」を刊行しているところでございます。

今回は2次寄贈資料中の書簡、図面類等を中心とした資料の目録となります。今回の刊行により、小田島コレクション1次、2次全体の目録刊行が完了することとなります。これによって、これまで以上にコレクションの積極的な活用を図り、なおいっそう、故小田島禄郎氏の文化財保護等の先駆的な活動についても紹介に努めてまいりたいと考えております。

また、小田島コレクションのほとんどはご遺族の寄贈によるものであり、改めてご遺族の方には感謝申し上げます。今後貴重なコレクションの一層の活用を努めたいと考えております。

最後に、当館では今後とも資料の収集活動をはじめとする博物館活動の充実に努めてまいり所存でございます。皆様の一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月

岩手県立博物館

館長 中山 敏

凡例

- 1 本目録は、岩手県立博物館が収蔵している小田島コレクション2次受け入れ分のうち、考古実物資料以外の書簡類、図書類等の資料を記載したものである。
- 2 本目録掲載の資料及び、小田島コレクション2次その2の資料は「OR2-2」の略号を頭書に付し、以下番号を振っている。資料の番号は「OR2-2-100」というように表記する。
- 3 小田島コレクション2次その2の資料は、OR2-2-1～OR2-2-2240の2240件の登録数となっている。このうち岩手県の考古学史に関連が深いと思われる657件について本目録に掲載している。
- 4 本目録に不掲載の資料は1583件については、考古学史に関連が薄いもので、私信、個人資料がほとんどである。小田島禄郎以外の家族が受信した書簡や、あからさまな個人情報を含む内容のものも多く、今回の目録への掲載はおこなわないこととした。
- 5 本目録に関する資料整理は、岩手県立博物館考古部門の研究テーマ「岩手県考古学史の研究」の一環として、考古部門主任専門学芸員 木戸口俊子（平成21～22年度在職）が担当した。資料の配列、同一番号資料の組み合わせは木戸口がおこなったものである。
- 6 本目録の編集は 考古部門主任専門学芸員 羽柴直人（平成26年度在職中）がおこなった。目録掲載資料の選別は羽柴がおこなったが、資料の配列、同一番号資料の組み合わせ等は木戸口がおこなったものを踏襲するようにした。
- 7 小田島コレクション2次その2の資料は、目録不掲載分も含めて岩手県立博物館第4収蔵庫に保管している。

1、小田島コレクション2次資料

小田島コレクションは二度にわたり故小田島禄郎氏の御遺族から寄贈を受けている。第1次の受け入れは1986年であった。その後、1992年に新たな資料群が小田島家で発見され、その他小田島家で保管していた考古資料も含めて1997年に当館に搬入し、調査研究を進め、1998年に正式に御遺族との協議により当館に寄贈していただけることになった。この際の寄贈資料が「小田島コレクション2次」資料である。

「小田島コレクション2次」資料のうち、考古実物資料については資料整理を終えており、その目録は、「岩手県立博物館収蔵資料目録第20集 考古Ⅷ 小田島コレクション2次 その1 考古資料編」として平成20年3月31日に刊行されている。

そして、本目録は上記考古資料編に盛り込まれなかった書簡類、図面類を中心とした資料目録となる。本書により、小田島コレクション1次、2次資料の全体の目録刊行が終了することとなる。

2、「小田島コレクション2次 その2」資料の概要

小田島コレクション2次受け入れ資料の内、実物考古資料（遺物）以外が「小田島コレクション2次 その2」の資料となる。内容は多岐にわたり、書簡類（ハガキ、封緘ハガキ含む）、行政文書、辞令書、原稿、実測図類、拓本類、手帳（フィールドノート含む）、メモ書き、書籍、各種印刷物、雑品などがある。

書簡類は考古学関係者との連絡郵便や、南部史談会の運営、雑誌刊行に係わる内容のものがみられる。これらは、岩手県の考古学史に関係するものとして、今回の目録に掲載している。この他書簡類の大半は、私事や学校運営等に関わるものであり、小田島禄郎本人以外に、その家族が受信した郵便類も多数存在する。これらは小田島禄郎とその家族を巡る状況や、明治末から戦争中、戦後の混乱期までの連続する貴重な生活史の記録とも成り得る資料であるが、個人情報も多く含み、発信、受信の人々も多岐、多数にわたり、公開の同意を得ることは実際的には不可能であり、今回目録への掲載は差し控えることとした。

行政文書は小田島禄郎が「岩手県史蹟名勝調査会委員」として活動した事柄に関するものが多い。中でも昭和4年から5年にかけての平泉金鶏山に関わる一連の行政文書は、通常の事務文書の域を超えた、小田島の史蹟保存への熱意が伺える内容である。また文化財行政関係の他に、戦時中「常会長」としての小田島に宛てられた、行政からの配給関係、各種通達文書が多数存在し、物資のみならず生活全般に統制が加えられた戦時の生活実態を示す資料と評価できる（今回の目録への掲載は見合わせた）。

原稿は小田島自身ものとしては、岩手郡誌関連の断片や「岩手県史蹟天然記念物調査報告」掲載のものがみられる。小田島以外の原稿では「南部史談会誌」掲載のものが見受けられる。

実測図類には「今松堅穴発掘略図」など現岩手町周辺のものなどが多くみられる。

拓本類では供出され現存していない一方井村「寶積寺梵鐘」の拓本が貴重である。

手帳類には、小田島の野外活動を記録したフィールドノートが貴重である。昭和2年のフィールドノートなどが充実した内容となっている。

その他、各種メモ書きや、書籍、印刷物などが考古学関係、その他のものが多数含まれている。

小田島コレクション2次その2 考古学等関係資料一覧

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181277	OR2-2	1	書簡	封筒のみ(伊能より)		遠野町 伊能真矩	廣田村 小田島禎郎	1	26.2×15.2	郵紙で作成した封筒 切手剥がしている
181278	OR2-2	2	ハガキ	年賀状(及川より)	昭和14年12月31日	和賀郡立花村黒岩 及川香石	浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.0	
181279	OR2-2	3	書簡	天台寺資料について(太田より)	大正10年10月22日	盛岡市盛岡銀行 太田孝太郎	一方井尋常高等小学校 小田島禎郎	1通1枚	19.5×102.0	朱書部有 天台寺(鐙)口 正平十八年ノ分ニ 天台寺 正平二十二年 天台寺賣越(箱) 慶長十八年
181280	OR2-2	4	ハガキ	天台寺鐘について(太田より)	大正12年9月12日	盛岡市盛岡銀行 太田孝太郎	岩手郡一方井村 一方井小学校 小田島禎郎	1	14.0×9.0	ハガキ
181281	OR2-2	5	ハガキ	年賀状(太田より)	大正15年1月1日	盛岡市盛岡銀行 太田孝太郎	江刺郡岩谷堂町小田島禎郎	1	14.1×9.0	
181282	OR2-2	6	書簡	内容不詳(太田より)	大正15年7月19日	盛岡市盛岡銀行 太田孝太郎	岩谷堂町 小田島禎郎	1通1枚	19.6×45.0	
181283	OR2-2	7	書簡	お悔やみと史談会誌のことについて(太田より)	昭和11年6月17日	盛岡市加賀野 太田孝太郎	二戸郡浄法寺村小田島禎郎	1通1枚	18.3×106.5	一昨日は新小路宅へ行き尊父(小田島父)逝去を知った
181284	OR2-2	8	書簡	内容不詳(太田より)	8月30日	盛岡銀行 太田孝太郎	下小路 小田島禎郎	1通1枚	19.3×42.3	年記述無し
181285	OR2-2	9	書簡	岩手考古図彙送付の御礼(谷川より)	大正15年9月15日	神社局考証課 谷川登雄	黒沢喜一郎 小田島禎郎	1	23.5×17.5	
181286	OR2-2	10	原稿	『南部勤王略記』を讀みて其の著者の高橋を煩す(小笠原謙吉原稿)	昭和9年11月	小笠原謙吉		19	24.3×18.6	南部史談会第11号掲載原稿
181287	OR2-2	11	書簡	文部省上田調査員來福に關して同行願い(川島より)	昭和9年7月1日	福岡町 川島一郎	盛岡市加賀野小路 小田島禎郎	1通4枚	22.1×18.8 他	・同行についての手紙は一枚 ・外 米澤直次からのもの三枚同封。南部史談会入会申込手続きに関するもの(日付は八月三日)
181288	OR2-2	12	書簡	九戸城について(川島より)2通	①昭和9年10月19日 ②昭和10年3月14日	岩手縣二戸郡福岡町役場 川島一郎	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	2	①22.0×18.7 ②23.7×16.2	①九戸城の二の丸、若狭館の写真について、図面について、写真は送付したとある ②図面二通送付とある
181289	OR2-2	13	ハガキ	年賀状(川島より)	昭和10年1月1日	福岡町 川島一郎	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	14.1×9.0	
181290	OR2-2	14	書簡	封筒のみ(川島より)	昭和10年2月12日	福岡町 川島一郎	加賀野新小路 小田島禎郎	1	21.0×8.5	
181291	OR2-2	15	ハガキ	年賀状(川島より)	昭和14年1月1日	福岡町 川島一郎	浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.0	
181292	OR2-2	16	書簡	安養寺の墓地拡張について(川島より)	昭和16年5月30日	福岡町 川島一郎	浄法寺町 小田島禎郎	1	22.4×17.8	安養寺の墓地拡張は、九戸城本丸側の人目につく重要な地点であり史蹟破壊につながるもの(小田島・菅野両調査員を始めとする調査員の慎重な審議を希望)
181293	OR2-2	17	書簡	史談会発会式の日程について(川島より)	4月30日	川島一郎	小田島禎郎	1	23.0×16.5	史談会の発会式の日程についての相談 封筒なし
181294	OR2-2	18	書簡	九戸城史蹟指定区域内の安養寺墓地拡張申請について(川島より)	5月9日(11日消印)	福岡町 川島一郎	浄法寺町 小田島禎郎	1通2枚	22.2×17.8	五日町安養寺墓地拡張の願い 九戸城史蹟指定区域内であり 学務部長・町長の意見を聞きたい
181295	OR2-2	19	往復ハガキ	太田・星両先生謝恩会案内	昭和15年6月29日	師範学校同窓会長 菅野義之助	浄法寺村 小田島禎郎	1	13.9×18.0	返信はがき投函せず
181296	OR2-2	20	封緘ハガキ	講習会の欠席について(菊池より)	大正14年8月6日	菊池三彌	江刺郡岩谷堂町 実科高等女学校内 小田島禎郎	1	12.1×9.4	
181297	OR2-2	21	ハガキ	年賀状(菊池より)	大正15年1月1日	宮城県多賀城村 菊池三彌	江刺郡岩谷堂町 小田島禎郎	1	14.2×9.0	
181298	OR2-2	22	ハガキ	東北、北海道調査の旅①(喜田より)	大正12年7月1日	東京市小石川区東青柳町十喜田貞吉	一方井小学校長 小田島禎郎	1	14.2×9.0	明後三日、庄内、仙北、秋田、弘前へ北海道へ参る 岩手へは、多分十六、七日頃になる期日は途中申し上げる。堅穴を掘って様子がわかるようならばやってみよう
181299	OR2-2	23	ハガキ	東北、北海道調査の旅②(喜田より)	大正12年7月17日	日高 喜田貞吉	一方井小学校 小田島禎郎	1	14.0×8.8	札幌より十八日の夜船にて青森へその後は予定通りだが、もし一日延期が可能ならば順次日取りを決定したい
181300	OR2-2	24	封緘ハガキ	「堅穴とチャシ」の論文について問い合わせ(喜田より)	大正 10月6日	仙台市二番町 虎若頼勝方 喜田貞吉	気仙郡廣田村 小田島禎郎	1	12.5×9.4	・「堅穴とチャシ」をまだ見ていない手許に残っていたら拝見したい ・仙台から気仙に行くにはどういうルートが便利か 一度寄りたい ・昨日の午後から庄内仙北へ行き仙北の堅穴を見る
181301	OR2-2	25	封緘ハガキ	近況報告(喜田より)	大正13年12月31日	京都市〇〇今熊野南日吉町 喜田貞吉	気仙郡廣田村 小田島禎郎	1	12.5×9.4	近況報告
181302	OR2-2	26	封緘ハガキ	・伊能氏の追悼のこと ・金田一村の遺跡のこと(喜田より)	大正15年7月30日付	東京小石川区東青柳町十喜田貞吉	江刺郡岩谷堂町 小田島禎郎	1	12.8×8.9	
181303	OR2-2	27	封緘ハガキ	舌崎の調査予定について(喜田より)	大正15年9月17日	仙台市東二番町 虎若方 喜田貞吉	岩谷堂町 小田島禎郎	1	12.6×9.5	金田一村舌崎の遺跡も菅野氏と発掘に行くつもり。その際、史蹟調査(区域担当者)の方と東北大学とその共同事業としてやりたい。その時には立ち会ってほしい。費下も出かけているだろうから菅野氏と打合わせ願いたい。北海道、青森を大体わかってきたので今年は南下して岩手、秋田方面を研究したい。
181304	OR2-2	28	往復ハガキ	日本歴史地理学会入会案内(喜田より)	昭和13年1月21日	東京市小石川区東青柳町 日本歴史地理学会 喜田貞吉	浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.1	返信ハガキ投函せず
181305	OR2-2	29	ハガキ	年賀状(小岩より小田島勝朗宛)	昭和30年1月1日	北上市 小岩栄治	浄法寺町 小田島勝朗	1	14.0×9.0	勝朗一様郎長男
181307	OR2-2	31	書簡	二戸郡の出張旅費の請求について(佐川より)	不明	佐川盛造	小田島禎郎	1通2枚	24.5×16.6	兼手懸紙使用
181308	OR2-2	32	書簡	調査に関する旅費受取の委任状について(佐川より)	大正13年9月1日	盛岡市日影門外小路 佐川盛造	気仙郡廣田村 小田島禎郎	1通2枚	28.1×20.2	佐川宛に旅費受取の委任状で書いてくれればそれなりに対応する。兼手懸紙使用
181309	OR2-2	33	書簡	史蹟調査日数の短縮と報告の印刷について(佐川より)	大正14年4月26日	盛岡市 佐川盛造	気仙郡廣田村 小田島禎郎	1通1枚	24.2×32.0	史蹟調査日数の短縮と報告の印刷について
181310	OR2-2	34	書簡	上閉伊郡の出張について(佐川より)	大正?年11月8日	盛岡市日影門外小路 佐川盛造	気仙郡廣田村 小田島禎郎	1通1枚	24.2×33.8	封筒と中味が異なるか中の便箋には五月二十九日とあり
181311	OR2-2	35	ハガキ	年賀状(佐川より)	大正15年1月1日	盛岡市上田組町字西組裏 佐川盛造	江刺郡岩谷堂町小田島禎郎	1	14.1×9.1	
181312	OR2-2	36	書簡	調査旅費について(佐川より)	大正15年5月29日	盛岡市上田 佐川盛造	岩谷堂町 小田島禎郎	1通1枚	24.8×33.7	調査旅費金額の違いは旅費規程の見解の相違によるもの(小学校教員に依らず県費支給の規定によるもの)

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	質量	備考
181313	OR2-2	37	書簡	旅費の件と菅野氏に対して(佐川より)	大正15年10月18日	盛岡市日影門新小路 佐川盛造	気仙郡廣田村 小田島祿郎	1通3枚	23.0×15.6	・柴田氏同行の旅費について ・菅野氏の分担区域外の調査を始めとする小田島と小笠原氏の反感に対して
181314	OR2-2	38	書簡	郡誌編纂の為の情報提供のお願い(佐川より)	昭和5年7月24日	久慈町 佐川盛造	岩谷堂町 小田島祿郎	1通2枚	27.3×19.5	郡誌を編纂しようとしても古文書や史料調査などが少ないなど資料が大量に不足して苦労している。小田島が調査したことを始め指導したきたい岩手縣教育會九戸郡部會事務紙使用
181315	OR2-2	39	書簡	九戸郡誌の「沿革」の文章の批評依頼(佐川より)	昭和9年11月22日	盛岡市油町 佐川盛造	盛岡市加賀野新小路 小田島祿郎	1通2枚	24.2×33.5 他	手紙一枚 沿革(ガリ版)一枚
181316	OR2-2	40	書簡	郡誌内に史蹟に関する記述についての添削(佐川より)	○年12月4日	盛岡市油町 佐川盛造	盛岡市加賀野新小路 小田島祿郎	1通5枚	24.0×16.5 他	九戸郡内 黒山の聖穴群、クレスボ聖穴群 1枚はクレスボ聖穴群遺構配置図(小田島調査遺構も明記)
181317	OR2-2	41	ハガキ	南部史談会入金申込の人々の会誌発送依頼(佐川より)	昭和10年1月28日	佐川盛造	盛岡市新小路 小田島祿郎	1枚	14.0×9.0	鈴木忠次郎 前田昌伍 川村善太郎
181318	OR2-2	42	書簡	お詫びの手紙(佐川より)	昭和11?年1月24日	盛岡市油町 佐川盛造	浄法寺村 小田島祿郎	1通1枚	18.0×11.0	(祿郎の)父體が重体の時は知らずに何度も郡誌に関する依頼をして申し訳なかった
181319	OR2-2	43	書簡	依頼原稿の送付督促(佐川より)	昭和11年4月15日	盛岡市上田 佐川盛造	二戸郡浄法寺村 小田島祿郎	1通1枚	24.3×18.0	
181320	OR2-2	44	書簡	九戸郡誌原稿の送付の依頼(佐川より)	昭和11年4月28日	盛岡市上田 佐川盛造	浄法寺村 小田島祿郎	1通3枚	24.4×16.1	郡誌は名蹟誌を含み約三百頁あり今は計画が止まっている状態、急いで原稿を送ってほしい
181321	OR2-2	45	書簡	九戸郡誌の記事の送付について(佐川より)	昭和11?年5月17日	盛岡市上田 佐川盛造	二戸郡浄法寺村 小田島祿郎	1通1枚	23.8×16.6	依頼していた記事はいつ頃送付していたか
181322	OR2-2	46	書簡	郡誌の校正について(佐川より)	昭和11年7月6日	盛岡市油町 佐川盛造	浄法寺村 小田島祿郎	1通1枚	116.8×19.0	1枚が3枚に分かれている
181323	OR2-2	47	書簡	九戸郡誌編纂に関する謝辞及び謝礼の送金について(佐川より)	昭和11年7月8日	盛岡市油町 佐川盛造	浄法寺村 小田島祿郎	1通3枚	18.0×71.0 他	受領書、小島誌証書九戸部会に提出するもの
181324	OR2-2	48	書簡	五百年前碑について(佐川より)	○年2月21日	佐川(盛造)	小田島(祿郎)	1	28.1×19.8	岩手縣事務紙使用
181325	OR2-2	49	書簡	志和山神社について(佐川より)	○年1月29日	佐川(盛造)	小田島(祿郎)	2	24.0×16.5	・新山神社は源勝寺と関係あるのではなく、新山寺と関係がある。 ・源勝寺は志和山神社と関係あり ・新山神社の礎石、鏡の見つかった時の様子
181326	OR2-2	50	ハガキ	南部史談会誌 第五号の感想(七戸より)	昭和9年5月30日	東京市豊島区雑司谷町5ノ770 七戸吉三	盛岡市加賀野新小路 小田島祿郎	1	14.0×9.0	ハガキ
181327	OR2-2	51	書簡	別稿(原稿)送付について便箋のみ(七戸より)	昭和9年8月13日	七戸吉三	小田島祿郎	2	22.0×15.3	南部史談会誌使用のものか
181328	OR2-2	52	ハガキ	年賀状(七戸より)	昭和10年1月1日	東京市豊島区雑司谷町5ノ770 七戸吉三	盛岡市加賀野新小路 小田島祿郎	1	14.0×9.0	文部省宗教局保存課勤務
181329	OR2-2	53	書簡	段取りの相談 手紙のみ(七戸より)	昭和10年2月1日	七戸吉三	小田島祿郎	1	18.0×9.0	
181330	OR2-2	54	ハガキ	南部家古文書・南北朝期の社寺について(七戸より)	昭和10年2月13日	東京市豊島区雑司谷町5ノ770 七戸吉三	盛岡市加賀野新小路 小田島祿郎	1	14.0×9.0	南部家古文書の件 ・本日別便で送付、査収のこと ・全部で8枚
181331	OR2-2	55	ハガキ	会誌掲載の照会(七戸より)	昭和10年2月15日	東京市豊島区雑司谷町5ノ770 七戸吉三	盛岡市加賀野新小路 小田島祿郎	1	14.0×9.0	・会誌掲載の件 ・原簿南部白旗家所蔵、依頼困難、送付した写真より複製
181332	OR2-2	56	ハガキ	九戸城跡の史蹟指定の経過、「鬼柳文書」、天台寺の鏡口、鐘について(七戸より)	昭和10年3月21日	東京市豊島区雑司谷町5ノ770 七戸吉三	盛岡市加賀野新小路 小田島祿郎	1	14.0×9.0	「九戸城址」十四日史蹟部会、十九日委員会通過し史蹟指定決定の運び「鬼柳文書」(3通)の写真掲載の件 天台寺の鏡口、鐘一國宝指定への申請はどうするの
181333	OR2-2	57	書簡	原稿の発送の連絡 便箋のみ(七戸より)	昭和10年6月30日	七戸吉三	小田島祿郎	1	22.3×15.0	
181334	OR2-2	58	ハガキ	有坂博士来盛について(杉山より)	昭和6年8月9日消印	牛込区河田町 杉山寿策男	盛岡市下小路 小田島祿郎	1	14.0×9.1	有坂博士が盛岡へ旅行するので紹介した連絡
181335	OR2-2	59	ハガキ	年賀状(鈴木より)	大正15年1月1日	水澤町 鈴木貞吉	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1	13.9×9.0	
181336	OR2-2	60	書簡	試覧見相談を重ねていきたい(鈴木より)	大正15年9月4日	陸中水澤町 鈴木貞吉	岩谷堂町 小田島祿郎	1通1枚	18.2×70.0	試覧見相談を重ねていきたい、問い合わせ 道申 曲玉などの有孔石製品について大小間は持つていたら見せてもらいたい
181337	OR2-2	61	ハガキ	資沢氏について私信(鈴木より)	大正15年9月8日	陸中水澤町 鈴木貞吉	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1枚	14.2×9.0	資沢氏のことについて
181338	OR2-2	63	ハガキ	図録原稿の確認について(高橋より)	大正15年3月21日消印	東京市下谷区上根岸88 高橋健自	岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.1×9.0	
181343	OR2-2	67	書簡	二戸郡史編纂の件 手紙のみ(田中より)	5月6日	田中庄一	小田島祿郎	1	25.3×17.1	岩手縣教育廳二戸教育出張所事務紙使用
181345	OR2-2	69	ハガキ	年賀状(鳥羽より)	大正15年1月2日	気仙郡小友にて 鳥羽輝藏	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.1×9.0	
181346	OR2-2	70	ハガキ	年賀状(中谷より)	大正14年12月31日	東京市本郷区曙町 中谷治宇二郎	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.0×8.8	
181347	OR2-2	71	書簡	関東の貝塚土器を送る(中谷より)	?年8月10日	中谷治宇二郎	小田島祿郎	1	27.7×20.5	瓶の内貝塚土器などを送る 便箋のみ
181348	OR2-2	72	書簡	封筒のみ(新渡戸より)	昭和5年7月27日消印	盛岡市仙北町組町104 新渡戸仙岳	二戸郡浄法寺村 小田島升太郎	1	28.0×11.6	
181349	OR2-2	73	書簡	封筒のみ(新渡戸より)	大正10年2月4日	盛岡市仙北町組町 新渡戸仙岳	一方井村一方井小学校 小田島祿郎	1	28.0×11.0	第四種郵便
181350	OR2-2	74	ハガキ	資料収集に関する近況(新渡戸より)	大正10年2月18日	盛岡市仙北町組町104 新渡戸仙岳	岩手郡一方井小学校 小田島祿郎	1	14.2×9.0	拝啓 ○○脚○安奉○買って きて ○○未○参考と可相来るもの三通御郵 ○致候所 御入手に下様や奉同って 其後未だ御覧に入るべきもの見付○居候 右申上○勿之○候 二月十八日
181351	OR2-2	75	ハガキ	お送りした資料について	大正10年2月21日	盛岡市仙北町組町104 新渡戸仙岳	岩手郡一方井村一方井小学校 小田島祿郎	1通1枚	14.1×9.0	ハガキ
181352	OR2-2	76	ハガキ	小岩井農場絵はがき(新渡戸より)	大正10年10月18日	盛岡市仙北町組町104 新渡戸仙岳	一方井小学校 小田島祿郎	1枚	14.0×9.0	文面不明
181353	OR2-2	77	往復ハガキ	天保銭価格について(新渡戸より)	大正10年10月25日	盛岡市仙北町組町104 新渡戸仙岳	岩手郡 一方井小学校 小田島祿郎	1	14.1×9.0	復信未投函
181354	OR2-2	78	往復ハガキ	天保銭製造など返信の督促(新渡戸より)	大正10年10月29日	盛岡市仙北町組町104 新渡戸仙岳	岩手郡 一方井小学校 小田島祿郎	1	14.1×9.0	・山後釜と言う地の大字及び小字。若しその地形を... 「天保密銭八明治四年来と言う説もあり。(10月25日付のハガキに対してのこと) 復信未投函

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181355	OR2-2	78	書簡	封筒のみ(新渡戸より)	大正10年2月21日	新渡戸仙岳	一方井小学校 小田島祿郎	1	19.5×8.0	第4種郵便
181356	OR2-2	80	ハガキ	天保銭鑄造に関わること(新渡戸より)	大正 年3月18日	盛岡市仙北町細町104 新渡戸仙岳	岩手郡一方井村小学校 小田島祿郎	1	14.2×9.0	「太田君を以て天保銭二種四枚御 〇〇にあつ可里〇間仕合候 奉 附し大更天保の鑄造に〇する事 は可成的確詳〇に御讀べ上成 致奉〇願候当二藤〇物讀には石 天保山所蔵可問之候也〇〇りら 〇〇香〇〇天奉けり 盛に〇〇北 の 鑄造の天保を明〇る々の をあらせられた〇〇可成多数に購 求ら〇〇致奉熊鷹候 御折角と 〇し奉折〇候
181357	OR2-2	81	ハガキ	年賀状(新渡戸より)	不明	盛岡市仙北町細町 新渡戸仙 岳	岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.1×9.0	
181358	OR2-2	82	ハガキ	所蔵している古銭について(新渡戸より)	昭和4年8月21日	盛岡市仙北町細町104 新渡戸仙岳	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.0×9.0	
181359	OR2-2	83	書簡	盛岡城の瓦の拓本依頼(新渡戸より)	昭和5年1月10日	盛岡市仙北町細町104 新渡戸仙岳	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1通1枚	19.3× 121.5	太田孝太郎氏所蔵の瓦について 門外不出たろうから拓本をとって見 せてもらいたい
181360	OR2-2	84	ハガキ	礼状(新渡戸より)	昭和16年4月7日	盛岡市仙北町 新渡戸仙岳	二戸郡浄法寺 小田島祿郎	1	14.0×9.1	絵葉書(高松スケート場)
181361	OR2-2	85	書簡	原稿の書き直しについて(新渡戸より)	昭和23年10月7日	盛岡市仙北町細町104 新渡戸仙岳	二戸郡浄法寺村 小田島祿郎	1通1枚	20.7×14.5	鉛筆書き
181362	OR2-2	86	書簡	近況報告(新渡戸より)	(昭和15年以降)5月1 日	盛岡市仙北町細町104 新渡戸仙岳	二戸郡浄法寺町 小田島祿 郎	1通1枚	18.7×69.0	
181363	OR2-2	87	書簡	内容不詳(新渡戸より)	昭和 4月3日	盛岡市仙北町細町104 新渡戸仙岳	二戸郡浄法寺 小田島祿郎	1通1枚	31.0×16.6	
181364	OR2-2	88	ハガキ	年賀状(堀江より)	大正11年1月1日	福島中学 堀江繁太郎	江刺市岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.1×9.0	
181365	OR2-2	89	書簡	仏像の鑑定について回答(明珍より)	昭和8年10月17日	奈良市法蓮町 明珍恒男	盛岡市加賀野新小路 小田島 祿郎	3	21.2×18.3	黒石寺本尊、四天王、日光、月 光、十二神符、伝慈覚大師 盛岡 阿弥陀堂本尊 横手町正平寺本尊 の鑑定 明珍恒男 死去の知らせ
181366	OR2-2	90	ハガキ	明珍恒男死去の知らせ(明珍辰男より)	3月18日	明珍辰男	浄法寺村 小田島祿郎	1	14.0×8.9	
181368	OR2-2	92	ハガキ	年賀状(八幡より)	大正15年1月10日	八幡一郎	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.2×8.9	
181369	OR2-2	93	ハガキ	年賀状(和田より)	大正15年1月1日	東京市小石川 和田千吉	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.1×9.0	
181371	OR2-2	95	書簡	雨滝遺蹟調査の経緯等 手紙のみ(小田島より)	(大正15年9月?)26 日	小田島祿郎	長谷部晋人	4	23.6×16.5	下書き、あるいは未発送
181373	OR2-2	97	行政文書	縣下に於ける古碑に関する報告書中左 記ノ箇所別紙ノ通り御訂正被成下度願上 事	大正14年3月5日	小田島祿郎	岩手県史蹟天然記念物 調査會長 久米成夫	1	24.5×17.0	一、二、赤崎村中井ノ部 二、三、赤崎村山口ノ部 三、五、上有住村栗山ノ部 四、七、門崎村巖明寺ノ部 五、八、西野井部ノ部 六、九、日影ノ部 七、四、形勢石質ノ部 墨紙切 り取りあり文意わからず。
181374	OR2-2	98	行政文書	・史蹟照會二開スル件 ・史蹟名勝天然記念物調査報告書二開ス ル件 2通(写し控え)	昭和2年3月5日	小田島祿郎	岩手縣学務部長 關杜二	2	24.6×33.4	貝塚 下閉伊郡田老村及其以北 樺市村二至ル各村 洞窟 下閉伊、九戸両郡及氣仙郡 上有住村 石器時代遺蹟 下閉伊、九戸両郡 各村
181375	OR2-2	99	行政文書	昭和二年五月御下命ニヨリ下閉伊九戸両 郡沿岸部ノ史蹟左記ノ通り調査致し様 ニツキ概況及御報告候也(写し控えか?)	昭和2年12月18日	小田島祿郎	岩手県史蹟天然記念物 調査會長 栗田五百枝	1	24.7×17.2	5月20日出果・21日盛岡奔→宮古 館山貝塚発掘・22日継続午後磯崎 貝塚・23日小沢遺蹟の探査、山口 村ノノノ、同村内の遺蹟にある自 然石の遺産・24日栗田上流、洞 窟調査・26日赤穴住居・27日五ヶ の洞窟、穴ノ(岩泉字白土25-6)・ 編幅穴(岩泉字樫2-12)・瓢穴 (岩泉字大北川48-9)・瓢穴を出 て右斜に下ルトニツの半洞窟有・ 28日静養、午後尼額・29日 新貝 塚発見(小本村大字小本字ボウシ ハタ11番or12番)・30日 羅賓行・ 31日 郡誌所載ノ羅賓貝塚の有 無、黒崎の遺蹟の発見・6月1日 普代村力村、堀内・3日 宇部村第 16地割字松原野発見・4日 野田宮北限三崎の嶺、黒崎の西 部・5日・6日小内貝塚発掘八木 塚(樺市村字南八木114-3)・7 日八木、吹切・8日角ノ浜一八戸中 居出土遺物・9日掃達、保護すべ きを感ずるもの・氣仙郡赤崎村 米舞、氣仙町長部、浦津村白浜、 大迫町赤浜、磯崎村高ノ浜、宮古 町小沢、宮古町磯ヶ崎、崎山村千 東長根、小本村茂師、樺市村八木 ノ崎貝塚、洞窟で注意すべきもの・ 長坂村長田洞窟、長坂村石川洞 窟、岩泉町赤穴洞窟、岩泉町瓢穴 洞窟、岩泉町横穴洞窟、岩泉町明 戸穴洞窟
181376	OR2-2	100	行政文書	旅費概算請求書(下閉伊郡史蹟調査)	昭和2年5月	小田島祿郎	岩手県知事 得能佳吉	1		史蹟調査し五月廿日ヨリ六月一 日迄給参日附 下閉伊郡下 九戸郡下出張
181377	OR2-2	101	行政文書	・史蹟調査復命書提出二開スル件 ・史蹟保護二開スル件 (写し控えか?)	昭和3年12月19日	小田島祿郎	岩手県学務部長 栗田五百 枝	4	24.5×33.5	・復命書の提出方法について今回 照会した ・東野井郡長坂村田河津村 ・同郡 千般町 ・和真郡立花村 ・下閉伊郡吉町外七ヶ町村 ・増賀郡亀ヶ森内川目村 ・史蹟保護 ・更木村臥牛
181378	OR2-2	102	行政文書	・史蹟保存指定二開スル件 ・史蹟調査方二開スル件 ・調査復命書二開スル件 ・図書回覧の件 ・臥牛地書二開スル件(写し控えか?)	昭和4年3月9日	小田島祿郎	岩手県学務部長 栗田五百 枝	10	24.4×33.6	舞貝塚と瀬谷子古窯群 宮古 小沢貝塚 館山貝塚 磯崎貝塚
181379	OR2-2	103	行政文書	図書回覧二開スル件	昭和4年3月22日	岩手県 学務部長	小田島祿郎	1	24.2×16.7	照会のあった図書は菅野委員より 返却となったことの知らせ
181380	OR2-2	104	行政文書	史蹟保存指定二開スル件(福瀬町案址)	昭和4年3月28日	岩手県 学務部長	小田島祿郎	1	24.1×16.5	福瀬町案址の保存指定について

登録番号	コレクション分類	番号	種別	課題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181381	OR2-2	105	行政文書	復命書用紙送付ノ件	昭和4年4月9日	岩手県 学務部長	小田島祿郎	1	23.9×16.6	史蹟調査復命書用紙二百枚送付する
181382	OR2-2	106	行政文書	史蹟調査ノ件(舞良貝塚所在地地籍図整理ノ件)	昭和4年5月28日	岩手県 学務部長	小田島祿郎	1	24.1×16.6	舞良貝塚所在地地籍図整理をおこなうこと
181383	OR2-2	107	行政文書	・指定地保護ニ関スル件 ・史蹟調査出張ノ件	昭和4年10月31日	小田島祿郎	岩手県史蹟天然記念物調査会長 栗田五百枝	4	25.4×34.0	・円隆址 ・菅野委員より報告された「真城村秋成古墳」の調査し直し及古城村方八丁遺跡、古館の調査
181384	OR2-2	108	行政文書	金雞山の掘削に関する問い合わせに対する照会	昭和4年11月22日	岩手県 学務部長	小田島祿郎	3	24.4×16.4	陳情書2枚 昭和4年11月20日一関町石橋ホテル滞在 東京外和田町町田和香著地 齋尾保雄氏より(一民有地で地主も希望している場所(局部地点に限る)での掘削なのになぜ、県の名に依り小田島氏は禁止したのか、一民有地で指定地以外の土地であり筋道の研究を抑え置くのはおかしい)
181385	OR2-2	109	行政文書	金雞山保護ニ関スル件(OR2-2-108)の照会に対する回答(写し控)	昭和4年11月23日	小田島祿郎	岩手県史蹟天然記念物調査会長 栗田五百枝	2	24.6×33.5	金雞山の地主が一部の発掘を希望している。圧強の通り、泉金や漆を埋めたものではなく、経路、経路を埋めた大石塚であろうと考えられる。そのため、地方の為に、破壊するよりはそのまま保存した方がよい。 本県の同様の経路、和賀郡十二鎮村、熊野神社境内、浄法寺村天台寺等船んど破壊されている。金雞山は県内でも遺存している遺蹟として稀である。県において保護する必要がある遺蹟である。
181386	OR2-2	110	行政文書	・報告書提出方二関シ ・真城村並古城村出張ノ件二関シ目的其他御照会(写し控)	昭和4年11月24日	小田島祿郎	岩手県史蹟天然記念物調査会長 栗田五百枝	3	24.5×33.4	・遺蹟数に対し、出張期日が短く、十分な調査ができない。県内を発掘した東北大地質古生物学教室及歴史解明等の教室に数多くの遺物を収蔵しているため、報告書作成のためにも、これらの遺物の確認のため出張命をだしてほしい。 ・真城村秋成、古城村方八町の調査し直し出張申請
181387	OR2-2	111	行政文書	・出張延期承認ニ関スル件 ・史蹟調査出張ノ件	昭和4年12月13日	小田島祿郎	岩手県史蹟天然記念物調査会長 栗田五百枝	2	24.2×33.4	・真城村及古城村の出張を一日延期させてほしい「古城村ニ於テ新二平安期初期ノ古城址ハルモノ発見」
181388	OR2-2	112	行政文書	・史蹟地調査に関する件(金雞山) ・金雞山調査報告書(一括り 報告書は写し控)	昭和5年2月13日	岩手県 学務部長	小田島祿郎	1	24.0×16.3	・昭和5年2月13日 学務部長一小田島 史蹟地調査報告書並出張する日時の回答依頼 ・同年2月15日 小田島一栗田五百枝(2/22出張) ・同年3月4日 金雞山調査報告書 ・同年同月同日 盗掘発見報告ノ件(金雞山2月23日)発見
181389	OR2-2	113	ハガキ	円隆寺(毛越寺)前面敷石の状況について報告依頼(文書部上田より)	昭和5年3月22日	文部省宗教局 上田三平	西磐井郡平泉駅付 毛越寺址発掘調査係 小田島祿郎	1	14.0×9.0	黒坂(勝美)博士、我野先生等と相談した処、円隆寺前面に水吐きするため不体敷な溝をそのまま露出しては見ない。前面に長く連続する敷石があるか発掘途中でもその現存の状態を至急報告するよう。尺度を加え深さ、敷石の幅溝はその敷石の両側に築いているのか、もう少し詳細な報告がほしい。
181390	OR2-2	114	行政郵便	円隆寺址の保存施設計画(岩手県より)	昭和5年7月31日	岩手県 平賀伊吉	盛岡市下小路	1	23.9×16.5	円隆寺址の保存施設計画に関する申請書を至急提出のこと
181391	OR2-2	115	行政文書	史蹟名勝天然記念物実地調査ニ関スル件(今後の調査見込の報告)	昭和5年8月2日	岩手県 学務部長	盛岡市下小路 小田島祿郎	1	24.0×16.9	調査おこなう出張見込みの町村、地域を10月末日までに報告せよ
181392	OR2-2	116	行政文書	史蹟名勝天然記念物調査報告書ノ件	昭和6年6月8日	岩手県学務部長	小田島祿郎	1	24.7×16.0	史蹟名勝天然記念物調査報告書10号を一部寄贈する
181393	OR2-2	117	行政文書	史蹟地調査書其他提出の件(蛸浦貝塚外報告書)(写し控)	昭和7年11月18日	小田島祿郎	岩手県史蹟名勝天然記念物調査会長 湯本二郎	1	25.0×17.0	気仙郡赤崎村 蛸浦貝塚 同郡廣田村 中澤演貝塚 同郡大船渡町 下船渡貝塚 同郡日頃市村 開合洞窟 岩手県調査員 仙遊町整地群 同郡一方井村 今松堅穴群 に関する説明書、測定図、発掘図、遺物写真の提出
181394	OR2-2	118	行政文書	史蹟名勝地調査ニ関スル件(九戸城址外九戸郡内報告書)(写し控)	昭和7年12月17日	小田島祿郎	岩手県史蹟名勝天然記念物調査会長 湯本二郎	1	25.2×17.0	古城岡家見 驛山村の土器類家見 経塚一石一宇経塚 九戸城関係文書及古図探査 米沢直次氏より寄贈 國香氏愛蔵品搬出 ほか遺蹟名に記載した遺蹟
181395	OR2-2	119	行政文書	史蹟名勝天然記念物調査報告書ノ件	昭和8年5月25日	学務部長	小田島祿郎	1	24.2×16.7	史蹟名勝天然記念物調査報告書11号を一部寄贈する
181396	OR2-2	120	行政文書	出張申請ノ件(写し控)	昭和9年7月4日	小田島祿郎	岩手県史蹟名勝天然記念物調査会長 湯本二郎	2	24.9×33.5	・紫波郡赤沢村船久保洞窟と一方井村今松堅穴と福岡町九戸城址保存指定のため、文部省上田三平氏の出張調査の時に実地で説明するための出張を命じてほしい。
181397	OR2-2	121	行政文書	史蹟調査状況報告ノ件(写し控)	昭和9年7月16日	小田島祿郎	岩手県史蹟名勝天然記念物調査会長 湯本二郎	3	24.9×33.9	船久保洞窟、一方井村堅穴、九戸城址の保存指定に関わる出張についての報告(文部省上田委員に同行)
181398	OR2-2	122	行政文書	九戸郡驛山村地内遺蹟調査、踏査概況及報告(写し控)	昭和9年11月30日	小田島祿郎	岩手県史蹟名勝天然記念物調査会長 湯本二郎	3	24.8×34.9	裏に別件の墨書あり(内容不明)
181399	OR2-2	123	行政文書	史蹟名勝天然記念物調査予定ニ関スル件(写し控)	昭和10年3月7日	小田島祿郎	岩手県史蹟名勝天然記念物調査会長 伊藤謙二	1	24.9×33.8	追加調査地 ・驛山村堅穴精査 ・東磐井、上閉伊における製煉鉄冶鑄の史蹟調査を希望

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181400	OR2-2	124	行政文書	史蹟名勝天然記念物に対する調査依頼	昭和10年3月14日	岩手県 社寺兵寺課長	市内新小路 小田島祿郎	1通3枚	24.5×16.8 他	昭和十年二月二十八日 下閉伊支庁長、各市町村長、各中学校校長、各小学校長宛に学務部長より 史蹟名勝天然記念物に関する調査書提出について 通達封筒
181401	OR2-2	125	行政文書	岩手県史編纂に関わる協力依頼について	昭和27年5月13日	岩手県総務部長 小川秀五郎	二戸市浄法寺町 小田島祿郎	1	25.0×34.9	出張者 小岩末治 期日 五月十八日午前 便宜の依頼
181411	OR2-2	135	手帖	手帖(明治40年10月以降)	明治40年10月以降	小田島祿郎		1	10.9×7.5	野田村、根井の採集の記述あり。 明治40年10月～ 四十年十月九日九戸郡野田村字根井に於て採集 石蝕十四、石芥一ヶ、又四ヶ、土器破片二ヶ但之直線模様 ほか
181426	OR2-2	150	原稿	岩手郡誌?目次・項目原稿?	大正期?	小田島祿郎		1	24.5×16.6	裏紙に書かれる
181430	OR2-2	154	行政文書	旅費請求書	大正3年	小田島祿郎	県知事 丸茂藤平	1	24.5×16.6	7円12銭を請求し受領
181432	OR2-2	158	ハガキ	資料提供の御礼(大場より)	大正4年9月13日	東京府下吉祥寺176 大場(生)	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.1×9.0	ハガキ
181433	OR2-2	157	書簡	古瓦に対する意見への御礼(阿部より)	大正5年3月15日	仙台市外富澤 阿部深	岩谷堂高等女学校内 小田島祿郎	1通2枚	23.7×16.3	*当地史蹟附近より出土する古瓦について、多賀城出土瓦と類似したもの全くなく残念
181435	OR2-2	159	ハガキ	舌崎遺跡の資料について(白山より)	大正5年9月7日	青森県三戸郡三戸町川守田 境沢 白山春松	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.2×9.0	「舌崎 工藤清治」についての記載あり
181442	OR2-2	168	原稿	浮島周辺供養塔ほか	大正9年か?			1	24.0×33.0 他	浮島周辺(?)供養塔(9.10.10) 新田(9.9.21) 他
181443	OR2-2	167	原稿	一方井村に関する地誌(?)の原稿(?)	大正10年以降	小田島か		6	24.0×17.0	「経済」と「人口」は二部ずつ有
181444	OR2-2	168	ハガキ	貨幣鑄造に関する古老より聞いた話(高橋?より)	大正10年5月21日	松尾村 高橋?■三	一方井村一方井小学校	1	14.0×9.1	明治二十三年頃 中軽米紋蔵一黒沢向にて銀貨(一分銀)を鑄造。すぐに見つかり盛岡長町の牢へ銀貨は一升程。出所不明。主唱者氏名不明。金は直ちに没収
181445	OR2-2	169	実測図	黒内妻ノ神館実測図	大正10年7月3日			5	70.0×33.0	本来は一枚もの
181446	OR2-2	170	実測図	黒内地区館址実測図	大正10年7月6日他			6	24.2×33.5	
181447	OR2-2	171	書簡	封筒のみ(南部史談会より)	大正10年8月27日	南部史談会	浄法寺村 小田島祿郎	1	21.2×8.3	
181448	OR2-2	172	実測図	「今松堅穴発掘略図」報告書元図	大正10年10月14日			16	24.5×33.0	実測図2枚 元図8枚
181449	OR2-2	173	書簡	弓張清水の碑文(福田より)	大正10年10月17日	御堂村水堀 福田○治	一方井村 一方井尋常高等小学校 小田嶋先生	1	24.1×33.0	石碑に書かれている文章の写し
181450	OR2-2	174	実測図	浮島蛇ヶ壑穴実測図	大正10年?10月22日			3	25.4×34.0 他	2枚は壑穴の平・新・磐城大図 1枚は新聞への書きこみ図
181451	OR2-2	175	ハガキ	礼状(根守より)	大正10年11月4日	沼宮内小学校 根守謙太郎	一方井小学校 小田嶋祿郎	1	14.0×9.0	遺跡調査実施及び講習実地指導御礼
181452	OR2-2	176	書簡	蝦夷壑穴実地視察について(都役所関より)	大正11年5月30日	岩手郡役所 関社二	一方井村一方井尋常高等小学校 小田嶋祿郎	1通1枚	23.3×14.5	実地視察の際、都視学も同行したい雨天の時は中止、改めて日取りを決定
181453	OR2-2	177	原稿	岩手郡の地勢について	大正11年(以降?)			1	24.2×16.7	岩手郡誌の原稿か?一方井村を中心とした。
181454	OR2-2	178	書簡	アイヌ遺跡視察に対する御礼(都役所関より)	大正11年6月2日	岩手郡役所 関社二	一方井村一方井尋常高等小学校 小田嶋祿郎	1通1枚	23.6×14.5	アイヌ遺跡(前回の手紙には「蝦夷壑穴」)
181455	OR2-2	179	書簡	手代森周辺の遺跡について(三浦より)	大正11年6月19日	盛岡市外川目 三浦義雄	一方井村一方井小学校 小田嶋先生	1	15.2×22.7	学校で集めたものに完全なもの2、3有り 珍しいものではない様だが一方井では見られなかったもの
181456	OR2-2	180	行政文書	一方井村「史蹟調査二開スル件」	大正11年12月1日	岩手郡長	一方井村長	2	24.8×17.0	照会事項 一、一方井村石器時代 壑穴並先住民族遺物倉庫遺蹟 イ、所在地、口、土地所有居住者氏名、ハ、現状区域内及周囲ノ状況等、ニ、由来伝説、ホ、参考トナルべき事項、ヘ、墓園
181457	OR2-2	181	原稿	「一方井村沿革大要」「村内神社」「一方井氏系譜」ほか	大正11年以降?			5	24.2×16.9 他	一方井村沿革大要、岩手山次宮司 土藤小次郎行先の事蹟、一方井氏系譜、明治三十何年行政区域劃の旧南部領の石高ほか、閉伊郡小川村字穴澤新山大権現ノ様札について、宝積寺について、一方井家について
181458	OR2-2	182	書簡	鏡田の壑穴について	大正12年11月10日	浄法寺村 関誠一	一方井村 小田嶋祿郎	1通2枚	24.2×33.3	封書
181459	OR2-2	183	原稿	二戸郡内史蹟調査終了報告下書	大正12年12月	小田嶋祿郎	史蹟名勝天然記念物調査会長 大森佳一	2	24.0×33.2	10月16日、17日 爾藤村アイヌ壑・透内壑穴・金田一村長久保遺蹟、斗米村益野、寺久保壑穴 10月27日、28日 斗米村立当壑穴・浄法寺村川又古墳・浄法寺村大久保壑穴
181460	OR2-2	184	書簡	地図送付及壑穴調査について	大正12年12月14日	浄法寺村 関誠一	一方井村 小田嶋祿郎	1通2枚	22.4×14.6	封書
181461	OR2-2	185	手帖	大正12～13年フィールドノート	大正12年～大正13年	小田嶋祿郎		1	14.7×8.5	沿岸貝塚中心の遺跡、遺構、出土遺物についてのメモ
181462	OR2-2	186	ハガキ	アイヌ時代の黒色透明の石器の価格について	大正13年1月4日	盛岡市新馬町黒坂屋 志田篤太郎	一方井村 一方井小学校 小田嶋祿郎	1	13.0×8.0	
181464	OR2-2	188	ハガキ	礼状(田口より)	大正13年1月12日	大日本艦 田口重三郎	岩手郡一方井村 一方井小学校校長 小田嶋祿郎	1	(13.0)×8.0	土器発見の際は送付したい
181465	OR2-2	189	書簡	蝦夷の壑穴に関する本の出版について	大正13年2月13日	盛岡市日影門外小路 岩手毎日新聞社 高橋嘉太郎	一方井小学校 小田嶋祿郎	1	18.1×45.0	未使用 日本郵便切手(1銭5厘)2枚同封(後から入ったもの?)
181466	OR2-2	190	書簡	依頼を受けたことの遅延に対する詫言(干葉より)	大正13年(?)2月16日	盛岡市日陰門外 干葉常樹	岩手郡一方井村 小田嶋祿郎	1	23.8×16.3	盛岡高等農林学校の復讐 申請のあった図の写しは不足分の地形図がそろったところで近日中に着手する予定
181467	OR2-2	191	ハガキ	印刷物について(山口活版所より)	大正13年6月9日	盛岡市内丸 山口活版所	気仙郡廣田小学校 小田嶋祿郎	1	12.7×8.0	史蹟名勝土器数の部分訂正、既に印刷済みのため訂正不可
181470	OR2-2	194	原稿	「岩手縣下に於ける壑穴及チャン其一」素稿	大正13年以前	小田嶋祿郎		1	24.2×18.0	OR2-2-195の前段階の稿
181471	OR2-2	195	原稿	「岩手縣下に於ける壑穴及チャン其一」原稿	大正13年以前	小田嶋祿郎		1	24.3×16.7	(大正十三年)岩手縣史蹟天然記念物調査報告 第4号収録
181472	OR2-2	196	ハガキ	年賀状(志田より)	大正10年1月1日	山田町杉 志田篤太郎	気仙郡廣田尋常高等小学校内 小田嶋祿郎	1	14.0×9.1	上閉伊郡貝塚一ヶについて後便で詳しく一報 申上げる

登録番号	コレク ション 分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181474	OR2-2	198	書簡	軽米地域の遺跡について(小田島政蔵より)	大正14年4月15日	九戸郡軽米町 軽米尋常高等 小学校長 小田島政蔵	気仙郡廣田村 廣田小学校 内 小田島祿郎	1	24.6 × 16.9	・小田島正蔵が同地区の研究者 小笠原電次郎氏、小笠原吉助氏、 小笠原貞蔵氏より聞き取ったもの の「軽米-八戸旧道約十町先「赤 坂」より石方高丘「秋塚森」遺物 出「赤坂の左方(西)「土呂」石 器出「地名辞典」「軽米地理提要」 「九戸郡誌」に採録出
181475	OR2-2	199	ハガキ	気仙郡への村誌(金山史)材料収集の出 張について(村上より)	大正14年7月28日	猿澤村 村上正雄	岩谷堂実科高等女学校 小田 島祿郎	1	14.0 × 9.0	
181476	OR2-2	200	手帖	大正14年フィールドノート	大正14年	小田島祿郎		1	10.1 × 8.1	岩谷堂地蔵周辺 白浜貝塚ほか
181477	OR2-2	201	ハガキ	年賀状(布佐窟についての内容含む)	大正15年1月2日	東磐井郡 佐藤武	江刺郡岩谷堂 小田島祿郎	1	14.2 × 9.1	布佐窟について 時事、岩手日報、 岩手産業、河北新報の新聞記者 達五、六名来村。小田島の調査史 蹟の資料も募集した旨を知った。 小田島の手紙どおり「免状禁止」 「編纂費償還の禁止」制札をたて、一 方出果の際佐川属並庶務課長二 三回程面談。調査員派遣方申請 承諾を伺。小田島氏の来村を待つ
181478	OR2-2	202	ハガキ	年賀状(松本より)	大正15年1月3日	東磐井郡磐清水村 松本〇〇	江刺郡岩谷堂町 小田島祿 郎	1	14.2 × 8.9	貝塚や洞山の話もあり
181479	OR2-2	203	ハガキ	絵葉書写真の仏像について説明	大正15年1月29日	福島県河沼郡勝常村 会津中央乗師堂執事	江刺郡岩谷堂町 高等女学 校 小田島祿郎	1	14.0 × 9.0	乗師如來日光仏月光仏土面觀音 薩一大同二年 弘法大師作・勝常 寺(別称 会津中央乗師堂)乗師 堂一重文。本造乗師如來及び両脇 侍像一國宝
181480	OR2-2	204	ハガキ	絵葉書 白水阿弥陀堂尊造(願成寺より)	大正15年1月29日	願成寺	江刺郡岩谷堂高等女学校 小 田島祿郎	1	14.2 × 9.1	
181481	OR2-2	205	書簡	願成寺白水阿弥陀堂山尊縁起写地 (願成寺執務より)	大正15年1月29日	福島県石城郡内郷村白水 願成寺 執務	江刺郡岩谷堂町高等女学校 小田島祿郎	1通3枚	28.3 × 39.0	・山尊縁起 境内建物平面図 ・阿弥陀堂写真(印刷)
181482	OR2-2	206	書簡	観音堂惠隆寺絵葉書、立木観音絵図など の封書(観音堂惠隆寺より)	大正15年2月5日	・福島県河沼郡八幡村字塔 寺観音堂惠隆寺 ・心清水信用購買組合	小田島祿郎	12	14.1 × 9.1 他	・絵はがき(6)・神社の説明書き (1)・絵はがきの封筒(1) = 1 セット・東奥會津塔寺邑名塔山惠 隆寺略縁起(1)・園寶 會津塔寺 立木観音の絵図(1)・小田島祿郎 への添書(1)・封筒(1)
181483	OR2-2	207	往復ハガキ	甲冑武器関係社寺地名等の研究資料募 集の援助依頼 (山上より)	大正15年2月11日	東京市外代々町榎ヶ谷733 山上八郎	江刺郡役所 社寺係御中	1	14.1 × 18.2	印刷文復係未投函
181484	OR2-2	208	ハガキ	預かっている石刀の鑑定 (藤澤より菅原 へ)	大正15年2月11日	原休 藤澤秀頼	田原村石山 松川(近所) シラハタケ 菅原辰造	1	14.1 × 9.0	預かった石刀は岩谷堂女学校の 袴袴平先生によりいわれ鑑定し たところ、石器時代の末のもので 武器に使用したものらしい。鑑定し た同女学校の小田島先生は相当 な値段がつくという。直接女学校へ 行き相談してほしい
181485	OR2-2	209	書簡	仙台市龍宝寺釈迦如來像について(住職 より)	大正15年2月14日 消 印	仙台市八幡町 龍宝寺 住職 河原克實	江刺郡岩谷堂高等女学校内 小田島祿郎	1通2枚	22.5 × 16.5	手紙二枚 寫影 表紙 寫影 二 枚 一、本尊寫影如來像 二、金亮次母阿古郡為メ砂金四 拾五駄を奉進、栗原郡金田庄(盛 品栗原郡成村)常福寺の本尊と して安置移される 三、元禄九年六 月綱村公の命により当山に置仏
181486	OR2-2	210	書簡	当山鎮守仏像の国宝出願に関わる指導 依頼(萬蔵寺より)	大正15年2月16日	江刺郡福岡村萬蔵寺 小野義雄	江刺郡岩谷堂町 女学校 小田島祿郎	1	23.4 × 16.3	萬蔵寺(現 北上市) 觀世音像 (鎮守觀世音像 他) 他 数体、胎内仏及び破片あり
181487	OR2-2	211	ハガキ	依頼済の高皿、土偶についての返答及び 石器鑑定の依頼(佐川より)	大正15年2月17日	伊手村 佐川星松	岩谷堂高等女学校内 小田島祿郎	1	14.1 × 9.0	
181488	OR2-2	212	ハガキ	「頭推の太刀」について(桜羽場より)	大正15年2月26日	特責郡漆川村 櫻羽場秀三	岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.0 × 9.0	「太刀」の絵入
181489	OR2-2	213	書簡	「気仙郡大徳森」問い合わせの返信(小 原より)	大正15年3月10日	小白濱 小原部 三	江刺郡岩谷堂女学校 小田島祿郎	1	24.0 × 33.3	様々問い合わせしたが、「大徳森」と いう遺跡には心当たりがない。
181490	OR2-2	214	書簡	機關雑誌への投稿依頼(編集矢吹より)	大正15年3月13日 消 印(14日付)	史蹟名勝天然記念物保存協 会 矢吹活禪	小田島祿郎	1	27.4 × 39.5	印刷
181491	OR2-2	215	書簡	写真の出来について(ライト写真館より)	大正15年7月25日(26 日消印)	盛岡市内丸 写真館 ライト 厩 健吾	江刺郡岩谷堂町高等女学校 小田島祿郎	1	24.1 × 16.5	過日撮影した写真の不出来に対す る詫言と、次回出かける際の同行 (再撮影)許可のお願い
181492	OR2-2	216	書簡	岩手考古図集刊行について御礼(高橋よ り)	大正15年7月25日(27 日消印)	宮城県登米郡南方村 高橋清次郎	岩谷堂町 小田島祿郎	1	18.0 × 63.0	
181493	OR2-2	217	書簡	近況報告(高橋より)	大正15年7月26日(28 日消印)	宮城県登米郡南方村 高橋清次郎	江刺郡岩谷堂高等女学校 小田島祿郎	1	26.0 × 17.6	心臓病を病める
181494	OR2-2	218	書簡	「岩手考古図集」について御礼(黒澤よ り)	大正15年7月29日(31 日消印)	盛岡市大沢川原袋町 黒澤善一郎	江刺郡岩谷堂町 小田島祿 郎	1	19.8 × 112.0	
181495	OR2-2	219	ハガキ	近況報告 資料収集について(工藤よ り)	大正15年7月29日	三戸町 工藤實	岩谷堂町岩谷堂高等女学校 内 小田島祿郎	1	14.0 × 9.0	ハガキ
181496	OR2-2	220	書簡	時事新報岩手版に掲載された記事につ いて(高橋より)	大正15年8月18日	盛岡市加賀野十九 高橋龍 勝	江刺郡岩谷堂町 小田島祿 郎	1通3枚	23.5 × 15.6	大正十五年八月初旬時事新報岩 手版掲載「アイヌとエゾ」の人種は 全く違うという説について、詳しい 教示をいただきたい
181497	OR2-2	221	書簡	考古図集代金残金の請求(大塚工芸社よ り)	大正15年8月24日	東京市本郷区 大塚工芸社	岩谷堂高等女学校 小田島祿 郎	1	23.5 × 15.5	考古図集製作代金の残金の請求
181498	OR2-2	222	ハガキ	小田島の近況と九戸郡の発掘調査出張 について問い合わせ(古川より)	大正15年9月3日	九戸支庁 古川純三	岩谷堂高等女学校教諭 小 田島祿郎	1	14.1 × 9.0	ハガキ
181499	OR2-2	223	書簡	「岩手考古図集」購入希望(清野よ り)	大正15年9月8日 送付	京都帝国大学医学部微生物 学教室 清野謙次	盛岡市縣廳内 小田島祿郎	1	24.0 × 16.5	岩手考古図集が江刺郡部会から 発行されたようだが江刺郡部会が わからないため、参内を封入。一 部送って欲しい
181500	OR2-2	224	ハガキ	県史蹟調査会報告書購入希望(高橋よ り)	大正15年9月11日	盛岡市加賀野19 高橋龍勝	江刺郡岩谷堂町 小田島祿 郎	1	14.0 × 9.0	第4号購入希望
181501	OR2-2	225	書簡	舌崎遺跡に關しての喜田博士の調査に ついて(黒澤より)	大正15年?9月11日	盛岡市大沢川原袋町 黒澤 善一郎	岩谷堂町八日市 小田島祿 郎	1	22.7 × 15.3	貴兄には斯界の学者として断じて 私情にかられぬよう祈る
181502	OR2-2	228	行政書簡	発掘調査報告方法および布佐窟の調査 状況報告の依頼について(学務課黒福 より)	大正15年9月11日 14 日消印	岩手県庁 学務課黒福 福田新 三郎	江刺郡岩谷堂高等女学校教 諭 小田島祿郎	1通3枚	27.7 × 20.0	岩手縣事務、岩手縣用封筒使 用

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181503	OR2-2	227	書簡	書簡「舌崎(雨滝)の現状について(釜澤迷い年子より)	大正15年9月12日 日消印	(金田一村舌崎) 釜澤迷い年子(夫)	江刺郡岩谷堂町八日市 小田島祿郎	1	27.8 × 40.0	①御諸賢(菅野氏他)の舌崎への出張は工事関係者も知らなかったようだ ②角館氏の感懐明白 ③東京帝大文学部歴史科二年生高橋重五郎宅泊 工藤米三氏の宛先(但し収獲なし) ④根拠のない発掘は禁すべき ⑤工藤文之助、その他の者について
181504	OR2-2	228	行政文書	二戸郡金田一村舌崎遺蹟調査概況及報告(大正15年9月調査)(写し控え)	大正15年9月14日	小田島祿郎	岩手県史蹟天然記念物調査会長 関社二	1	24.4 × 16.7	※発掘部の調査、東北大法字科蔵品の調査の上「縣下ニ於ケル重要ナル遺物包含地及散布地ヲ取纏メタル報告書」により更に報8月3日出発 同23日 荷作り
181505	OR2-2	229	ハガキ	出土遺物の売買について(矢村より)	大正15年9月15日	二戸郡金田一村舌崎 矢村横	江刺郡岩谷堂町高等女学校内 小田島祿郎	1枚	14.1 × 9.0	ハガキ
181507	OR2-2	231	ハガキ	近況報告遺物の収集について(工藤より)	大正15年9月16日	金田一村舌崎にて 工藤文二助	岩谷堂町高等女学校内 小田島祿郎	1	14.2 × 9.0	「釜沢」「角館」の人名あり
181508	OR2-2	232	書簡	最近の出来事について(釜澤より)	大正15年9月22日	釜澤忠夫	岩谷堂町八日町 小田島祿郎	1	22.2 × 15.0	県からの通知について 矢村氏のこと 鈴木貞吉氏のこと 角館氏のこと
181509	OR2-2	233	書簡	舌崎の様子と東京大学へ提出した発表の時間の問い合わせ(経後より)	大正15年9月23日	三戸郡向村大向 越後升太郎	岩谷堂町 小田島祿郎	1	22.4 × 15.0	
181510	OR2-2	234	書簡	書簡 舌崎の様子並びに七戸・五戸方面の遺蹟情報について(工藤より)	大正15年10月1日	三戸郡留崎村 工藤實	岩谷堂町八日市 小田島祿郎	1	22.3 × 14.5	①舌崎の様子 ②三戸方面の研究者について ③七戸・五戸方面・八戸方面の研究者について ④五戸町付近の墓穴について
181511	OR2-2	235	行政文書	金田一村舌崎及上野遺蹟調査報告	大正15年11月18日	小田島祿郎	岩手県史蹟名勝天然記念物調査会長 関社二	1	24.2 × 16.7	10月15日出発 10月16日遺蹟西南隅 発掘(G点) 10月17日(D点)発掘 10月18日H点、午後上野遺蹟、2ヶ所発掘 10月19日帰校
181512	OR2-2	238	行政文書	十月五日付申請ノ二戸郡斗米村遺蹟の踏査概況報告(写し控え)	大正15年11月18日	小田島祿郎	岩手県史蹟名勝天然記念物調査会長 関社二	1	24.5 × 16.7	10月5日の申請(発掘調査)は承認されていないが、踏査概況について参考までに報告
181513	OR2-2	237	書簡	浮島附近の石碑、台石探見について	大正15年?11月12日	田村貞庸	校長 小田島祿郎	1	24.0 × 33.0	14日 日曜が好機
181514	OR2-2	238	手帖	大正15年フィールドノート	大正15年	小田島祿郎		1	12.3 × 7.3	舌崎 下閉伊
181515	OR2-2	239	原稿	岩手考古図集レイアウト他拓本 図版目次	大正15年	小田島祿郎		1冊 (綴)	24.1 × 33.1 他	拓本は土器底部 木葉痕
181516	OR2-2	240	実測図類	地形図 西岳より南(御堂村、一方井村付近)手書き色つきトレス	大正?			8	28.0 × 39.5	同じもの、色ちがひ
181517	OR2-2	241	実測図類	地形図、地質図(御堂村、一方井村)手書	大正?			6	40.0 × 28.0	
181518	OR2-2	242	実測図	竪穴実測図(黒内妻ノ神ほか)	大正?10月17日			2	24.7 × 33.5 24.5 × 33.1	
181519	OR2-2	243	ハガキ	一方井古墳の掲載された雑誌、歴史、地理などの送付の願い(濱田発)	昭和2年1月24日	東京市下谷区仲御徒町二一三五 濱田賢三	江刺市岩谷堂女学校内 小田島祿郎	1	14.1 × 9.0	小笠原謙吉氏より頼まれた岩手部沿革起草のため必要とされた資料を代わりに直接送ってほしいだろうか
181520	OR2-2	244	ハガキ	子供あてに遺蹟発掘について(小田島発)	昭和2年5月28日	小田島祿郎	岩谷堂町八日市 小田島勝郎 富茂 啓	1	14.0 × 9.0	岩泉町内の洞窟の遺蹟の調査について小田島の子供あて
181521	OR2-2	245	ハガキ	調査協力に対する御礼 送付先書き損じ	昭和2年6月10日	小田島祿郎		1	14.0 × 9.0	印刷物 書き損じ「下閉伊郡崎山村千崎…」宛 未発送
181522	OR2-2	248	ハガキ	和賀郡二子村「セツ森貝塚」について問い合わせ返信(福地発)	昭和2年8月8日	和賀郡二子小学校 福地文夜	岩谷堂高等女学校内 小田島祿郎	1	14.0 × 9.0	二子村セツ森貝塚・北上川に沿って二子村字川端に「セツ森」小さい森七つあり、貝塚一掘れば貝殻出るといふが真偽は不明
181523	OR2-2	247	書簡	送付した大戸・切牛部落収集遺物について(馬場発)	昭和2年11月22日	下閉伊郡浜岩泉	馬場門太郎	1通3枚	22.2 × 14.7	送付した遺物についての説明
181524	OR2-2	248	ハガキ	板碑調査の依頼(高橋発)	昭和2年5月17日	東磐井郡薄衣村校内 高橋喜興之助	岩谷堂高等女学校内 小田島祿郎	1	14.2 × 9.0	当校付近に元弘、応永年号の石碑あり。当地方に出張の折によってみていただきたい
181525	OR2-2	249	手帖	昭和二年度フィールドノート	昭和2年度	小田島祿郎		1	16.0 × 10.3	県内各遺蹟(門崎村、立花村他) 葉書1、名刺4を夾む
181526	OR2-2	250	手帖	昭和二年度後期同三年度前期フィールドノート	昭和2年度後期、同3年度前期	小田島祿郎		1	16.0 × 10.3	乱牛 安儀他 ハガキ受領書など 夾む
181527	OR2-2	251	手帖	昭和三・六以降フィールドノート	昭和3年6月以降	小田島祿郎		1	15.7 × 10.3	青森県三戸郡名久井村小学校、立花村黒岩岩字片月、佐倉河村方 八丁 他
181528	OR2-2	252	書簡	「岩手県紫波郡 古館村史蹟名勝案内」と板碑拓本(志郎発)	昭和3年11月23日	紫波郡日詰町 志(郎)正松	岩谷堂町 小田島祿郎	1	19.5 × 54.0 35.0 × 27.9 拓本	手紙文なし 十一月二十五日のものに同封の資料か(ただし日付は含まず)・城山観音平板碑拓
181529	OR2-2	253	書簡	古館村にある石碑(城山観音平板碑)について(志郎発)	昭和3年11月25日	紫波郡日詰町 志郎正松	江刺郡岩谷堂町高等女学校 小田島祿郎	2	18.2 × 44.2 24.3 × 16.8 スワッチ 23.7 × 16.5 書簡	十一月二十五日の書簡とともに十一月二十八日拝復の手紙もあり、すぐに返事があったことが推測される 城山観音平板碑スワッチ同封
181530	OR2-2	254	手帳	昭和四年度フィールドノート	昭和4年度	小田島祿郎		1	15.9 × 10.3	宮古 前小学校、船 村沼ノ上貝塚、舌崎他
181531	OR2-2	255	印刷物	史前学会歳重書	昭和4年1月	史前学会		1	21.0 × 60.8	史前学会は大山柏主宰
181532	OR2-2	258	メモ書き	「南部史要」抜き書きなど	昭和4年3月22日 昭和5年2月28日の日付あり			2	16.5 × 12.0 他	石垣の刻字について 昭和5年2月28日の日程について 図書館で南部史要他を見る 『南部史要』の盛岡の時鐘について他
181533	OR2-2	257	ハガキ	御陵の史料の件と宇都宮の考古学研究者による三戸町での発掘について(北田発)	昭和4年5月31日	盛岡市十三町 中島旅館 北田秀太郎	岩谷堂町 岩谷堂女学校 小田島祿郎	1	14.0 × 9.0	
181534	OR2-2	258	ハガキ	黒沢尻棚、前九年の棚についての見解(山本発)	昭和4年5月31日	東京市外戸塚町下ノ戸塚525 大蔵館支店内 山本賢三	岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.1 × 9.0	黒沢尻棚は現蹟訪神社付近との私見を記す
181535	OR2-2	259	書簡	転任の挨拶(印刷)(藤野発)	昭和4年6月3日	静岡県追手町 藤野英隆	岩谷堂町 小田島祿郎	1	14.1 × 9.2	静岡県学務部教育課長を拝命
181536	OR2-2	260	書簡	舌崎の鉄道工事開始の連絡(釜澤発)	昭和4年6月7日	(金田一村舌崎)釜澤(忠夫)	岩谷堂町 小田島祿郎	1	21.7 × 14.1	昨年発掘した反対側、山道に面した500坪にわたり工事を開始

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181538	OR2-2	282	書簡	下口内に点在する塚、その他について(杉笠発)	昭和4年6月10日	上口内尋常高等小学校 杉笠栄	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1	24.1×33.0	未使用切手(返信用)添付。下口内丸森、志遠森、志田森内に四～五基の塚、旗塚一基、土器、石碑(梵字あり)発見(塚等の位置の地図が書かれている)
181539	OR2-2	283	ハガキ	上有住尋常高等小学校所蔵の石器二点の返却願い(校長大和田発)	昭和4年6月16日?	気仙郡上有住尋常高等小学校 校長 大和田賢次郎	岩谷堂高等女学校 小田島祿郎	1	14.0×9.0	柴田考古員が以前史跡調査の際に持ち帰った上有住尋常高等小学校所蔵の石器二点未だ音沙汰なし。村長の抗議もあり新築落成に伴い、他の石器・時と一緒に整理したい。柴田考古員の現所在が不明なため小田島に連絡をとってほしい。研究上、返却が無理なら写真及び説明書のみでも可
181540	OR2-2	284	書簡	近況報告と次回調査打合わせ(一条発)	昭和4年6月16日	宮古市 一条孝太郎	岩谷堂町 小田島祿郎	1	18.5×82.0	宮古方面
181541	OR2-2	285	書簡	工事の状況及び遺跡の状況について(釜沢発)	昭和4年6月26日	(金田一村古崎) 釜澤忠夫	岩谷堂八日市 小田島祿郎	1	21.7×14.1	・工事は七分通り完成・本日より昨年発掘した場所に入る。盗掘は行われている。四、五名の生徒がこれまで見当たらなかったものを見つけている。保存会の人が手を廻しているだろう
181542	OR2-2	286	ハガキ	書籍返却依頼	昭和4年7月6日	岩手県水澤町 駒形神社事務所	江刺郡岩谷堂町 岩手県名所旧跡保存会 小田島祿郎	1枚	14.0×9.0	神社蔵書「仙台書書 封内風土記(五)」一冊 至急返却されたし
181543	OR2-2	287	実測図等	「高製村大字榎田堀田標址 約五分の一概要図」	昭和4年12月15日踏査調製	宙外誌		1	(36.0)×53.5	手書き、彩色
181544	OR2-2	288	書簡	樺太での仕事について 延享路の石碑発見について(八幡発)	昭和5年10月16日	二戸郡田山村 八幡源夫	盛岡市下小路52 小田島祿郎	1通4枚	23.3×15.9	延享年間の石碑の発見。長者屋敷方面にも石碑あり
181545	OR2-2	289	手帳	昭和五、六年度フィールドノート	昭和5、6年度	小田島祿郎		1	16.0×9.9	戸類家イヅナ遺跡、船渡遺跡
181546	OR2-2	270	印刷物(新聞)	河北新報岩手版 昭和6年7月3日	昭和6年7月3日			1	54.0×41.0	金色堂上棟式の記事などが記載されている
181547	OR2-2	271	絵ハガキ	「常陸國分寺エハガキ」未使用	昭和6年8月8日	筑浦庵 発行		5	14.1×9.1	舟塚山古墳、常陸國分寺、常陸國分尼寺、講堂・金堂・寺門
181548	OR2-2	272	ハガキ	泉山山陵の踏査のお願(北田発)	昭和6年12月7日	青森県三戸町 北田寿太郎	盛岡市下小路 小田島祿郎	1	14.0×9.0	ハガキ
181549	OR2-2	273	手帳	フィールドノート(昭和7～10年使用)	昭和7、8、9、10年	小田島祿郎		1	16.0×10.3	家系図 他
181550	OR2-2	274	手帳	昭和七年度フィールドノート	昭和7年度	小田島祿郎		1	16.0×10.3	舟久保洞窟、長者屋敷 他
181551	OR2-2	275	書類	ルール博物館に送付した遺物に関する委任状。中谷氏関係(写し控えか)	昭和7年度(8年前半?)	小田島祿郎	委任状は中谷氏宛(中谷宇吉郎?) 他一通は不明	(2通分)1枚	24.9×33.9	OR-2-2 274フィールドノートの頁の間にはさまれていたもの
181552	OR2-2	276	書簡	墓地出土品の鑑定依頼(小野発)	昭和7年5月30日	江刺 小野〇〇	盛岡市新加賀野 小田島祿郎	1通1枚	18.1×86.5	四寸五、六分の土境の埴輪子が出土。土性の古瓦と同様に見える。これまで茶碗、皿、鏡しか出るものがなく動物が焼き物が出たのは初めて
181553	OR2-2	277	ハガキ	調査についてのお知らせ(小谷発)	昭和7年6月20日	大船渡 関端館 小谷清	盛岡市新小路4-1	1	14.1×9.1	絵ハガキ使用
181555	OR2-2	278	ハガキ	洞窟住居遺跡調査依頼(豊巻発)	昭和7年11月1日	九戸郡大川目村 豊巻太郎	盛岡市加賀野新小路 小田島祿郎	1	14.0×9.0	「洞窟は久慈川筋より約五六町二日間の予定で知事に派遣申請済
181556	OR2-2	280	絵図写し	九戸城図(享保七年五月十八日)写し	昭和7年12月写			1	72.0×83.0	朱書「享保七年五月十八日日本紙山鷹口口持参之帳由 安永五年十月 田嶺義延 写之 昭和七年十二月 写之」
181557	OR2-2	281	地籍図	福岡町字城ノ内繪圖(写しか)	不明			2	80.0×108.0	明治期地籍図の写しか 同じもの2枚あり
181558	OR2-2	282	絵図写し	九戸城図写し	昭和7年12月写			1	34.0×60.0	昭和七年十二月寫 原因ハ…の部分ハ、欠損して不明
181559	OR2-2	283	絵図写し	福岡九戸館図写し	昭和7年12月写			1	48.5×67.0	朱書「昭和七年十二月撰寫 原因ハ不明 川島所蔵ニヨリ寫ス」
181560	OR2-2	284	絵図写し	九戸城図写し	昭和7年12月写			1	67.0×53.5	朱書「昭和七年十二月寫 原因ハ田中館ニ在リ」 本来一枚のもの
181562	OR2-2	286	ハガキ	遺跡地番等問い合わせの回答(中野発)	昭和8年7月21日	九戸郡山形村川井 中野熊太	盛岡市加賀野新小路(岩手県天然記念史蹟調査委員) 小田島祿郎	1	14.0×9.0	一、内間木の洞窟の神社名一春日鏡音 一、ヨシダレ、大字戸呂町第十一地割三八番ノ武 一、大字小國第一六地割百番ノ内一、二、六
181563	OR2-2	287	書簡	老松村大祥寺の観音像及古碑調査に対するの御礼(村長、住職発)	昭和8年10月24日	老松村長 千葉昌巳 大祥寺住職 木村良敏	小田島祿郎	1	24.5×33.5	老松村大祥寺 木造十一面観音像?(県指定S29年～)
181564	OR2-2	288	原稿	「九戸城址」解説文(下書)	昭和8年記述のあるものに記入(「9戸城址」解説文)	小田島祿郎		2	27.0×39.0	浅野長吉書状(天正十九年九月十四日)の筆写も同封
181565	OR2-2	289	ハガキ	南部史談会誌の発送依頼(小升川発)	昭和9年3月2日	八戸市山伏小路 小升川〇八郎	盛岡市加賀野 小田島祿郎	1	14.1×9.0	絵ハガキ「一王寺円筒式土器」使用
181566	OR2-2	290	ハガキ	南部史談会誌購入希望(上田発)	昭和9年3月10日	岩手日報社内 上田十郎	盛岡市志家加賀野新小路411 南部史談会 小田島祿郎	1	14.0×9.0	
181567	OR2-2	291	原稿	南部史談会誌 編集素稿	昭和9年4月	小田島祿郎		1	24.8×66.8	
181568	OR2-2	292	ハガキ	桜山神社聖堂建設発起人会開催案内(大坪他発)	昭和9年5月5日	大坪義太郎 瀬山陽吉	盛岡市新小路 小田島祿郎	1	14.0×9.0	謄写版印刷
181569	OR2-2	293	ハガキ	一戸町の七尾氏について問い合わせの回答(自時発)	昭和9年5月15日	福岡町 目時萬九郎	盛岡市加賀野新小路 小田島祿郎	1	14.0×9.0	一戸町七尾氏について回答・石器と土器の買取について
181570	OR2-2	294	書簡	以前、鑑定依頼をした資料の返却について(大和田発)	昭和9年5月29日	岩谷堂町川原町 大和田廣平	岩手県庁内 岩手県史蹟調査員 小田島祿郎	1	21.0×15.0	昭和三年六月頃に依頼した「古器之カメ之破損品 約一箇分」
181571	OR2-2	295	書簡	南部史談会誌論文に対する意見(川村発)	昭和9年6月1日	禰貫郡龜ヶ森村 川村純市	盛岡市加賀野新小路 小田島祿郎	1	18.1×105.5	
181572	OR2-2	296	原稿	「先史時代より藤原に至る文化流入の経路と普及状態」原稿	昭和9年6月	小田島祿郎		1	24.7×17.0	『南部史談会誌』に数回に分けて掲載
181573	OR2-2	297	原稿	南部史談会誌第7号ほか原稿	昭和9年7月印刷			1	27.0×19.0	・史蹟指定地元室蘭南部藩陣屋跡二就イテ 村田専三郎 ・南部藩各錢座の錢櫃二就テ 小笠原吉克 ・北松齋のことも 南部富哉ほか
181574	OR2-2	298	原稿	南部史談会誌第4号掲載予定原稿ほか	昭和9年8月			1綴	23.0×15.8	第4号以外の原稿有 ・『南部朝時代に於ける三戸 南部氏の態度』を讀む一三戸南部家の事蹟に就いて七戸氏の高訓と待望す一 小笠原謙吉 他 ・赤澤村百澤洞窟保存問題二ツキテ 小田島正 ・金関係記事 ・聖堂建立主意書(S8年11月)

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181575	OR2-2	299	書簡	会誌七号送付の御礼と山内銭座出土の四銅銭本の依頼(小笠原発)	昭和9年8月9日	九戸郡鞋米町 小笠原吉亮	盛岡市新小路 小田島禎郎	1	24.3×16.9	
181576	OR2-2	300	ハガキ	南部史談会誌寄贈について(柄川発)	昭和9年8月23日	鳥取県淀江町 柄川卓史	盛岡市志家加賀野新小路 南部史談会	1	14.0×9.0	ハガキ
181577	OR2-2	301	原稿	南部史談会誌9号原稿	昭和9年9月発行	小田島禎郎編集		1	25.0×19.0	執筆著・七戸吉三・佐々木正部・小田島禎郎・深淵居士・小田島古濃
181578	OR2-2	302	絵図写し	奥羽南部福岡九戸古城之圖 享保七年五月十八日写し	昭和9年9月写			1	84.0×79.0	
181579	OR2-2	303	原稿	南部史談会誌第10号原稿の一部	昭和9年10月	小田島禎郎、佐佐木正部		1	24.7×17.2	會誌(第10号)は昭和9年10月30日発行のもの(挿圖写真説明(小田島)(甲斐南部氏の勤王と三戸南部氏との関係(佐佐木正部))
181581	OR2-2	305	書簡	南部史談会入会希望(金子発)	昭和9年10月10日	金沢市下本町6-18 金子一	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1通5枚	22.5×17.8	(加賀藩内銭五家取潰しの折南部領内川内村に在勤したことのある沖船頭久次郎というものが加賀藩を脱し、川内村へ逃れたが加賀藩の役人により逮捕された)銭五家について調べている際、南部地方関係の冊子を見、会誌について知った。何かの縁と思われるので入会したい
181582	OR2-2	306	書簡	購入書籍代金請求(日東書院)	昭和9年10月29日	東京都本郷区 日東書院	盛岡市加賀野 小田島禎郎	1	23.5×15.8	「日本考古学概説」日本考古図録大成」の代金請求
181583	OR2-2	307	原稿	南部史談会誌 十一号編集原稿(素稿)	昭和9年11月発行	小田島禎郎		1	25.0×16.3	
181584	OR2-2	308	書簡	南部史談会会費納入(川村発)	昭和9年11月16日	稗貫郡亀ヶ森村 川村純市	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	18.0×110.5	・自分の会費1ヶ月分と川村精郎氏入会金、会費一ヵ月分計六拾銭同封 ・隣家の善法院と称する小庵にある仏像と遠野街道の一里塚についてご教示願いたい
181585	OR2-2	309	ハガキ	南部史談会誌掲載原稿の件(佐藤発)	昭和9年12月20日	二戸郡荒澤村 佐藤東山	盛岡市加賀野新小路 南部史談会内 小田島禎郎	1	14.0×9.0	ハガキ
181586	OR2-2	310	原稿	「相馬大作白澤一件書類」津軽の笠原八郎兵衛秘記」を読む人の譲りておかれたこと」	昭和9年12月28日印刷	松山三浪		1	24.5×17.0	南部史談会誌12号掲載
181587	OR2-2	311	書簡	南部史談会会費送付(村田発)	昭和9年12月31日	函館市元町十八 村田雷三	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	22.4×15.0	
181588	OR2-2	312	原稿	「浄法寺村山内銭座の銭種につきて」	昭和9年	小田島古濃(禎郎)		1	25.0×17.0	南部史談会掲載用か
181590	OR2-2	314	ハガキ	「壺の碑」についての質問(富田発)	昭和10年1月11日	盛岡市加賀野三十六 富田小一郎	盛岡市加賀野新小路4-1 小田島禎郎	1	14.0×9.0	ハガキ
181591	OR2-2	315	ハガキ	当村の石碑の梵字拓本の送付について(高橋発)	昭和10年1月16日	東磐井郡松川村 高橋善興之助	盛岡市加賀野新小路 黒史蹟調査員 小田島禎郎先生	1	14.0×9.0	当村石碑、梵字、拓本送付します薄衣校長遺出土の指環の中、確認後連絡します
181592	OR2-2	316	書簡	南部史談会誌 十三号～十七号までの注文(佐藤発)	昭和10年1月19日	二戸郡荒澤村 佐藤東山	盛岡市加賀野新小路4-1 小田島禎郎	1	24.1×16.7	注文希望欄とともに小為替封書同封
181593	OR2-2	317	ハガキ	南部史談会誌送付の御礼(川村発)	昭和10年2月2日	九戸郡大野村 川村喜太郎	加賀野新小路 小田島禎郎	1	14.0×9.0	
181594	OR2-2	318	書簡	南部史談会誌送付の御礼(前田発)	昭和10年2月2日	九戸郡伊保内村 前田禎伍	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	18.0×45.0	
181596	OR2-2	320	ハガキ	親福寺仏像胎内の墨書銘文について(北田発)	昭和10年2月14日	三戸町 北田寿太郎	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	14.0×9.1	現青森県指定文化財(十一面観音坐像)元は南部町の長谷寺にあり昭和四年に親福寺に移される。天授二年(一三七六年)仏子幸塵作
181597	OR2-2	321	書簡	大迫銭と大迫銭座址調査について(川村発)	昭和10年2月23日	稗貫郡亀ヶ森村 川村純市	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	18.0×70.5	・大迫銭発見したい報告する ・先年、新渡戸先生ご指導に依り大迫銭座址を調査した以来、この方面の研究をはじめた
181598	OR2-2	322	書簡	経塔などの鑑定依頼(中田発)	昭和10年2月25日	黒沢尻町 柴黒中 中田直芳	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	18.1×95.0	自分が蒙古より持ち帰った経塔、佛體他を鑑定してもらいたい
181599	OR2-2	323	ハガキ	南部家より南部史談会へ寄付の申し出(南部家別邸発)	昭和10年2月26日	市内下小路 南部家別邸	市内加賀野新小路 小田島禎郎	1	14.0×9.0	金参円を史談会へ寄付したい
181600	OR2-2	324	ハガキ	上野図書館への寄贈図書について(田中館発)	昭和10年2月27日	二戸郡金田一村 田中館廣	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	14.0×9.0	ハガキ
181601	OR2-2	325	ハガキ	問い合わせの大迫の八反清水の「ドヤ」についての返答(藤原発)	昭和10年3月2日	花巻市西中根子 藤原貞次郎	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	14.0×9.0	八反清水のドヤについて 大迫鎮銭(二厘銅銭、天保銭) 松岡清人について
181602	OR2-2	326	書簡	稲瀬村備後塚にかかわる史跡調査の報道について 拓本の太刀の鑑定依頼(昆野発)	昭和10年3月5日	江刺郡廣瀬村 昆野善右門	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	23.1×17.9 1 拓本 33.7×24.2	拓本(太刀貞祐二年銘)同封 手紙は佐藤三郎との連名記
181603	OR2-2	327	ハガキ	三月二十四日の南部史談会例会における演題(佐佐木発)	昭和10年3月10日	下小路 佐佐木正部	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	14.0×9.0	一、藤ヶ森住吉大明神ノ変遷等に就キ 二、三戸城放火二罹リ重器図籍ノ爐并新築構築等を關スル話 三、(方寸リ)ノ名産地其ノ製品及ヒ徳川幕府への獻納
181604	OR2-2	328	ハガキ	史談会誌が手許に届かないことについて照会(前田発)	昭和10年3月18日	野田 前田修三	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	14.0×9.0	ハガキ
181605	OR2-2	329	ハガキ	鯉口の注文について(小澤発)	昭和10年4月4日	黒沢尻町諏訪 小澤永治	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	14.0×9.0	南部史談会会員
181606	OR2-2	330	書簡	南部史談会誌十五号一部寄贈の御礼(田中発)	昭和10年4月19日	東京市荏原区戸越町 銭幣館 田中啓文	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1通1枚	19.0×25.2	
181607	OR2-2	331	書簡	古銭情報及び南部史談会誌送付の御礼(小川発)	昭和10年4月21日	青宝楼(場模交換事務所) 小川浩	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1通1枚	26.7×19.3	
181608	OR2-2	332	書簡	書簡 所有している部寛永(青盛)の見解と岩手の鑄銭に関する研究(三上発)	昭和10年4月23日	大日本東京市半込区二十騎町37番地 平尾麗恵荘内 三上善哉	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	24.8×16.5	推進のお願い 拓本2枚含む
181609	OR2-2	333	ハガキ	送付した古銭について(小川発)	昭和10年5月16日	東京市本郷区天神町三ノ八 小川浩	盛岡市加賀野 小田島禎郎	1	14.0×9.0	ハガキ
181610	OR2-2	334	書簡	南部史談会誌原稿の送付(佐佐木発)	昭和10年6月11日	佐佐木正部	小田島禎郎	1	24.7×34.0	住吉大明神(神社)に関する原稿
181611	OR2-2	335	書簡	南部史談会誌十七号寄贈の御礼	昭和10年6月13日	東京市芝区新橋 及川電氣商店 及川銀太郎	盛岡市加賀野新小路 南部史談会 小田島禎郎	1通2枚	25.0×18.6	・同誌掲載欄 和賀神社の建設についての株買の記事の掲載に対し御礼 ・三日にわたり和賀城址の史蹟保存のため尽力してくださった
181612	OR2-2	336	ハガキ	鯉口の釣台の見積について(砂子澤発)	昭和10年7月30日	岩手県工業試験場 砂子澤平三郎	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.0	ハガキ
181613	OR2-2	337	書簡	禎郎の父の安否及び古銭の情報(売買)について(小川発)	昭和10年9月11日	青宝楼 小川浩	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1通1枚	25.1×19.2	

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181614	OR2-2	338	書簡	送付した古銭についての価値及び代金について(小川発)	昭和10年9月26日	本郷区天神町 小川浩	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1通1枚	25.1×19.2	
181615	OR2-2	339	書簡	南部史談会誌 第十九号の印刷代金領収証及び二十一号の装丁について(阿部謙写堂発)	昭和10年10月9日	盛岡市日隈門外小路 阿部松三郎 (阿部謙写堂)	浄法寺町	1	23.5×17.3	受領証(昭和十九年九月十八日)一枚含む 史談会誌 第十九号 三六〇 五十四円(単価十五銭)
181616	OR2-2	340	ハガキ	南部史談会誌のことに(佐佐木発)	昭和10年10月14日	盛岡市下小路 佐佐木正郎	二戸郡浄法寺 小田島禎郎	1	(13.5)×9.0	
181617	OR2-2	341	ハガキ	印刷社からの原稿督促(阿部謙写堂発)	昭和10年10月18日	盛岡市日隈門外小路 阿部謙写堂	浄法寺村 小田島禎郎	1	14.2×9.0	史談会の原稿の催促
181618	OR2-2	342	突測図等	第十二代和賀忠明築城岩手と和賀郡飛騨城突測平面圖	昭和10年11月突測 昭和11年9月21日製	和賀直衛次男		1	98.0×78.5	贈呈 及川銀太郎(?)と添書あり 青焼陶器
181619	OR2-2	343	書簡	「児島家譜 兵法ノ巻物」の調査依頼(佐藤発)	昭和10年12月10日	盛岡市 佐藤瀧三郎	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1通(2枚)	23.1×17.8	手紙には佐藤瀧三郎と尾野善右門との連名記。
181620	OR2-2	344	書簡	近況及び今後の南部史談会について(佐佐木発)	昭和10年12月12日	盛岡市下小路六四 佐佐木正郎	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1通1枚	18.3×11.0	十二月から四月まで例会講義を休止しその代わり毎月会誌は出版し配布する ・会場となる所には冬季間暖炉の設備もなく苦悶している。何か良い案はないか。
181621	OR2-2	345	書簡	南部史談会会費の支払い(杉田発川口着)	昭和10年12月18日	杉田	川口	1	17.0×12.4	川口氏を介して小田島へ二ヵ月分の支払いを頼んでいる
181622	OR2-2	346	書簡	調査に関わる資料提出に対する指導依頼(佐藤発)	昭和10年12月18日 19日消印	江刺郡廣瀬村 佐藤瀧三郎 尾野善右門	浄法寺町 小田島禎郎	1	18.3×81.0	
181623	OR2-2	347	ハガキ	南部史談会誌の発行(丸善発)	昭和11年1月22日	大阪市 丸善株式会社大阪支店	浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.0	1年分の南部史談会誌を送付後ハガキ使用 返信(請求書)未使用
181624	OR2-2	348	ハガキ	南部史談会誌二十一号以降の送付依頼(藤原発)	昭和11年3月9日	稗貫郡湯口村中根子 藤原貞次郎	盛岡市加賀野新小路 南部史談会 小田島禎郎	1	14.0×9.0	盛岡市加賀野新小路から浄法寺へ転送
181625	OR2-2	349	書簡	書簡 お悔やみと九戸城指定について	昭和11年4月21日記 4月23日送付	國分善一	小田島禎郎	1	17.8×15.7	
181626	OR2-2	350	書簡	以前の調査の御礼並びに今後の調査の依頼(佐藤発)	昭和11年7月5日	江刺郡廣瀬村 佐藤瀧三郎	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	18.2×12.6	同送(浄法寺村へ)
181627	OR2-2	351	ハガキ	祝辞(名須川発)	昭和11年11月1日	九戸郡種市小学校 名須川三郎	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	14.0×9.0	史蹟調査の御功績により表彰の栄を得られた
181628	OR2-2	352	書簡	調査依頼(佐藤発)	昭和12年1月21日	江刺郡廣瀬村 佐藤瀧三郎	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	24.1×17.0	昨年十一月七日 児島高德公の御一代の遺書、和歌巻物を発見。調査をお願いしたい
181629	OR2-2	353	ハガキ	内務省の長瀬操工事の際の骨出土について(松尾発)	昭和12年2月13日	二戸郡野 松尾源次郎	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.0	アイヌ塚の内に係る道路より出土
181630	OR2-2	354	書簡	古文書等資料の真偽、指導の依頼(佐藤発)	昭和12年3月7日	江刺郡廣瀬村 佐藤瀧三郎	盛岡市新小路 史蹟調査員 小田島禎郎	1	24.3×33.1	昨年度及び今年度見つけた古文書の真偽。高德公の直筆か否か。
181632	OR2-2	356	ハガキ	南部史談会誌慶刊のことに(佐藤発)	昭和12年10月28日	二戸郡荒瀬村 佐藤瀧八(号東山)	盛岡市志家第二地割加賀野新小路4-1 小田島禎郎	1枚	14.0×9.0	・南部史談会誌慶刊について ・誌について
181633	OR2-2	357	ハガキ	古泉会誌のことに(小川発)	昭和13年7月5日	小川浩	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.0	
181634	OR2-2	358	ハガキ	「責難に鉄錐伝像之れ有り候や」照会印刷往復ハガキ(八橋発)	昭和13年10月10日	東京市 八橋徳二郎	岩谷堂町 岩手県史蹟調査員 小田島禎郎	1	14.0×9.0	返信ハガキ未投函
181635	OR2-2	359	書簡	青森県郷土会入会案内(青森県立図書館発)	昭和13年10月29日	青森県立図書館	小田島禎郎	1	24.5×17.0 他	会規約、払込票同封
181636	OR2-2	360	書簡	奥羽製鉄史研究について(佐藤発)	昭和13年11月25日	宮城県本吉郡御岳村馬籠 佐藤興二郎	九戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1	23.7×16.2	奥羽製鉄史研究 ・仙台藩慶長年代以後明治維新前
181637	OR2-2	361	ハガキ	「九戸戦史」の本について(小保内発)	昭和13年11月5日	廣匠小路六三 小保内弘四	浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.0	このような本は、私と貴下くらいしか読まないのではには出してない。盛岡の御宅(小田島宅)を調べればおそろしく見つかるはず
181638	OR2-2	362	ハガキ	「九戸軍記」について(松尾発)	昭和13年12月25日	堀野 松尾源次郎	二戸市浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.0	米澤長五郎より入用
181639	OR2-2	363	書簡	喜田貞吉葬儀日程(喜田三五発)	昭和14年7月9日	東京市小石川 喜田三五	浄法寺村 小田島禎郎	1	15.2×10.3	喜田貞吉の葬儀
181640	OR2-2	364	ハガキ	「奥羽史蹟演義」の購入希望(澤発)	昭和14年11月3日	紫波郡水分会 澤功	江刺郡役所教育会	1	13.9×8.9	江刺郡役所受領印あり
181641	OR2-2	365	書簡	南部史談会誌の発刊伺いと論文掲載願	昭和15年3月17日	青森県三戸郡市川村轟木尋常高等小学校内 西塚音吉	盛岡市志家第二地割加賀野新小路4/1 小田島禎郎(浄法寺へ転送)	1	24.8×33.5	返信用切手添付(四銭) ・会誌の発行の行方 ・残部確認
181642	OR2-2	366	書簡	江戸時代後期に於ける東北諸藩の民政資料調査依頼(黒田発)	昭和15年6月3日	東京府下武蔵野町吉祥寺三六七 黒田 源六	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1	26.7×19.1	昭和十二年六月二十五日に当初依頼。戦争召集のため昭和十五年六月再び依頼
181643	OR2-2	367	ハガキ	東野十郎左エ門子孫及び島山重宗についての質問(米田発)	昭和15年7月15日	八戸市長者山 米田泰助	二戸郡浄法寺局区内 小田島禎郎	1	14.0×9.0	若狭氏著「二戸史」に記載の東野十郎左エ門子孫の現住所・氏名。島山重忠の身。重宗の住所についてお教えをほしい
181644	OR2-2	368	書簡	郷土史原稿の指導に対する御礼(栗田発)	昭和15年7月21日	二戸郡福岡町小学校 栗田喜一郎	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1通1枚	18.1×96.6	小田島が編纂したことを国書氏より聞き郷土史編纂の有史以前のことにたいして草案を持参しご指導いただいた。今後よろしくお願ひしたい
181645	OR2-2	369	ハガキ	本の返却依頼(小館発)	昭和15年12月20日	盛岡市菜園 小館長右門	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.0	「日本刀」の本 至急返送の事
181646	OR2-2	370	ハガキ	今後の交流を願う挨拶(武田発)	昭和16年2月19日	東京池袋千石百拾番地 大日本献身会 武田義信	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1	14.0×9.0	・もと一戸町出身 ・若手日報紙上に名を発売、知った。郷土史の雑誌を発売、七戸吉三の話によると「櫛引八幡宮」についての研究が深い。 ・今後の交流のお願い
181647	OR2-2	371	書簡	安養寺墓地の件、絵図面の件(黒澤発)	昭和16年4月20日	二戸郡福岡町字中町六番地 黒澤治助商店	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1通1枚	26.0×17.8	絵図面については今しばらく猶予がほしい
181648	OR2-2	372	書簡	浄法寺修理・九戸政実に関する参考書の借受依頼(米田発)	昭和16年4月26日(28日消印)	八戸市長者山 米田泰助	二戸郡浄法寺 小田島禎郎	1	21.5×17.7	
181649	OR2-2	373	書簡	アイヌ塚と小原文蔵について(松尾発)	昭和16年7月15日	二戸郡爾羅体村 松尾源次郎	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1通3枚	18.2×45.0	印刷の正誤表二枚 同封
181650	OR2-2	374	書簡	会費督促(日本考古学会発)	昭和16年11月30日	日本考古学会	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1通2枚	25.2×18.6	昭和15年7月～16年12月分会費9円督促
181651	OR2-2	375	書簡	会費請求(史前学会発)	昭和16年12月15日	東京市渋谷区 史前学会	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	1	24.2×16.3	昭和16年1月～12月分会費5円
181652	OR2-2	376	書簡	会費督促(日本考古学会)封筒なし	昭和17年6月1日	日本考古学会	小田島禎郎	1通1枚	24.5×17.0	昭和15年7月～17年6月分 22円督促
181653	OR2-2	377	ハガキ	岩手県の貝塚報告書について他、質問(村・発)	昭和17年6月27日	塩蘆市赤・村○	浄法寺村 小田島禎郎	1	(11.3)×9.1	ハガキ 二分の一欠損
181654	OR2-2	378	ハガキ	「錦木塚由来記」の書の贈呈について(田口発)	昭和17年7月18日	秋田県鹿角郡錦木村錦木字浜田 田口傳七郎	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1	14.0×9.0	歌枕「錦木塚」として全国的に知られている地・・・(田口傳七郎 元岩手県庁職員)

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181655	OR2-2	379	書簡	館区内の貝塚発見について(小館発)	昭和17年11月12日	上閉伊郡鶴住村 小山旅館 方 小館長右工門	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1	21.9×15.8	東北工業新聞社用紙「小山旅館については「駅より三分」という文言添えられている 昨年十一月十六日、東條首相に謹白書提出、暗殺計画の嫌疑をかけられ約三ヶ月取り調べを受ける。二月十八日、解放一貫院秘密会に報告される・・・
181656	OR2-2	380	ハガキ	調査同行のお願い(高樹発)	昭和18年5月29日	東磐井郡松川村 高樹(生)	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.0	「薄衣大久保に一ヶ所あるが大部短りあらされてしまった
181657	OR2-2	381	書簡	蒐集古銭の寄贈報告(田中発)	昭和19年12月記 昭和20年2月21日付	東京都荏原区荏原一丁目 291番地 田中啓文	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1	15.9×21.4	蒐集古銭を日本銀行へ寄贈した旨の報告 文印刷
181658	OR2-2	382	ハガキ	秋田蕨の株一株の所望の件(南部家発)	昭和22年5月6日	盛岡市下小路 南部家	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1	13.9×9.0	ハガキ
181659	OR2-2	383	書簡	天台寺調査に関わる御礼(志賀発)	昭和22年8月18日	盛岡市大清水小路十八 坂 牛方 志賀力	浄法寺町 小田島禎郎	1	24.6×15.4	天台寺杉山が掘下げになるという話は真実なのか、模範林の掘下げとは考えられないが真偽をお知らせ戴きたい
181660	OR2-2	384	書簡	奥中山にある中山樫について(川守田発)	昭和22年8月19日	盛岡市馬場小路 川守田麟三	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1通4枚	26.0×16.3	以前鳥井龍蔵博士が令嬢を伴って故松澤徳蔵先生の案内にて実地踏査し中山樫跡を踏査したと聞いたが真偽は確立していない。昨年調査の際に出した土器が中山樫の(時期のもの)と見える人がいることを参考に申し述べる
181661	OR2-2	385	書簡	桜山神社境内の無償譲与の申請について(大川発)	昭和22年10月6日	盛岡市下小路四三(桜山神社社務所) 大川秀雄	浄法寺町 小田島禎郎	1	22.7×29.6	
181662	OR2-2	386	書簡	小保内氏の訪問延期の報告及び桜山神社境内に関する問題について(大川発)	昭和22年10月16日	盛岡市下小路四三 大川秀雄	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1	23.0×31.0	
181663	OR2-2	387	書簡	行人塚伝説に関わる教示依頼(今井発)	昭和23年5月1日	群馬県勢多郡北橋村下箱田 今井善一郎	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1	25.8×36.2	謄写版印刷・行人塚の有無・所在地・形状規模・伝説・意見 など返信用封筒・切手(一円二十銭)
181664	OR2-2	388	書簡	商工奨励館の敷地について(岩手縣経済部長発)	昭和23年4月15日	岩手縣経済部長	小田島禎郎	1		本縣商工業振興の一環として商工奨励館を設置すべく計画中。目的内容から敷地は、市内中心街、中核部の敷地を考慮して計画。しかし、前地、保存を要するとの見もきこえてくるので意見をききたい。(地図もあり)
181665	OR2-2	389	書簡	東北国宝保存に関する会議と天台寺国宝紹介に関する意見について(内村発)	昭和24年7月21日	二戸郡福岡町 内村一三	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1通3枚	23.6×16.2	県教育事務局社会教育課 大森氏からの文書待ちの内容を含む
181666	OR2-2	390	ハガキ	国宝保存会と天台寺境内木伐採に関する実地調査について(県教委大森発)	昭和24年7月21日	盛岡市内丸五十八 岩手縣教育委員会事務局社会教育課内 大森啓助	浄法寺町 小田島禎郎	1	14.0×9.0	ハガキ
181667	OR2-2	391	書簡	向鶴史談会の入会案内、顧問願(向鶴史談会発)	昭和24年9月11日	盛岡 向鶴史談会 三浦一 盛岡市加賀野磯町	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1	24.4×17.1 25.6×33.6 1会則 26.2×19.8 案内状	「向鶴史談会」代表 三浦一 吉田義昭 今浦正 佐藤秀雄
181668	OR2-2	392	書簡	書簡 桜山神社境内地問題に関わる経過報告(大川発)	昭和25年1月31日	盛岡市下小路43 大川秀雄	浄法寺局内浄法寺町 小田島禎郎	1	24.8×17.9	1月27日 花巻温泉にて、東北地区神社境内地審議(大蔵省財務局審査会審査委員等出席)・2月28日 桜山神社境内地実地踏査・財務部盛岡支部にて実情聴取報告書・財務部は神社に対して境内を不要地としてみられている
181669	OR2-2	393	委嘱状	桜山神社氏子総代の委嘱状	昭和25年4月25日	桜山神社	小田島禎郎	1	19.2×53.0	
181670	OR2-2	394	書簡	南部史談会誌(第六号)の代金と石器、古銭の鑑定について(齊藤発)	昭和26年12月30日	盛岡局区内山岸町山賀橋通り 和光園 齊藤吉太郎	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1	25.1×17.7	・古銭:浄法寺山内鎮の天保銭5枚・打製石器・シン(向鶴)計を記入した「南部史談会用紙」用紙には氏名(2名分)「観相院松山鎮林孝清居士」「護法院置山莊浄観清居士」
181671	OR2-2	395	書簡	天台寺母樹材の件、天台寺の杉の種類(浄法寺山内野発)	昭和27年2月12日	岩手県治山課 河野吾郎	浄法寺町大字御山 管禮次郎	1通2枚	25.0×17.9	
181672	OR2-2	396	書簡	天台寺に関わる事務手続き文書の再提出について(泉治山課河野発)	昭和27年3月5日	岩手県林務部治山課 河野吾郎	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1通3枚	25.0×18.0	不備があった為再提出願いたい。本省は金を出したてられないので承認するかは疑問。天台寺杉の種類・件、天台寺母樹の件(種別)の容態についてもふれる。これより先に体調不良の日があった模様
181673	OR2-2	397	ハガキ	近況報告(管発)	昭和27年3月6日	浄法寺町御山 管礼次郎	浄法寺局区内松森 小田島禎郎	1	14.0×9.0	病で床に臥しているが寺のことが気になる
181674	OR2-2	398	ハガキ	禪山遺跡の調査日程(山内発)	昭和27年4月18日	住所読めず 山内一	浄法寺町 小田島禎郎	1	14.0×9.0	予定通り20日から調査。24日、25日頃にきてほしい
181675	OR2-2	399	書簡	御礼状(小笠原発)	昭和27年4月25日	盛岡市仁王小路六九 小笠原徳介	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1	25.4×17.2	「齊藤さん」をたずねて古銭について話を聞いた。盛岡の古本屋の話(盛岡は六軒程で専門書が見つからない)
181676	OR2-2	400	行政書簡	歴史資料収集の際の御礼(県総務部長発)	昭和27年5月22日	岩手縣総務部長 小川五郎	小田島禎郎	1	25.3×17.3	歴史資料収集のため係員を派遣、その際の便宜に対する御礼
181677	OR2-2	401	資料	文化財保存箇所改道及本堂床下燃焼物防止施設(天台寺修復計画)	昭和	不明	不明	1	25.2×34.7	修復工事計画内訳(修理代 他)下書き?写し?
181678	OR2-2	402	書簡	内閣木洞窟平面図についての手紙	昭和(?)年11月16日	不明	不明(小田島禎郎か?)	1	22.9×15.1	発信しなかったものか 封筒無し
181679	OR2-2	403	書簡	史談会への寄贈(南部家発)	昭和?年2月8日	市内下小路 南部家	南部史談会 小田島禎郎	1	24.5×16.4	会誌を寄贈していただいた御礼に会誌代として金参円を同会へ寄贈したい。
181680	OR2-2	404	行政文書	旅費内訳	7月12日出張分	岩手県		1	24.3×16.7	岩谷堂、水澤間住復・水澤、盛岡間住復(1泊) 岩手縣警紙
181681	OR2-2	405	書簡	南部史談会入会の件(一ノ倉発佐藤所長発)	4月25日	市内下小路 一ノ倉島文	盛岡市地方裁判所 佐藤所長 閣下	1通1枚	18.1×60.2	表に「南部史談会用件」と有り
181682	OR2-2	406	書簡	古墳発掘調査の依頼(及川発)	○年5月22日	藤沢町 及川孝一	浄法寺村 小田島禎郎	1	18.2×84.7	ハガキ 同封されている
181683	OR2-2	407	書簡	礼状と写真(及川発)	昭和4年7月24日	立花村黒石 及川善哉	奈良市女子高等師範学校歴史講習会会場内 小田島禎郎	4	23.5×16.2	封書 手紙1枚 写真1枚 その他1枚
181684	OR2-2	408	書簡	畑屋について(清水発)	6月10日	仙台市越政三田 清水東四	浄法寺村 小田島禎郎	1	23.4×15.9	鎮銭=銅屋と称す (1)東磐井郡大澤村大籠(小宇) (2)本吉郡馬籠村宇畑屋の薄及外畑屋 (3)本吉郡新丹村新坂字二十一 北外敷ヶ所

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181685	OR2-2	409	原稿	「お願い」 南部史談会誌掲載原稿	○年11月30日	小田島祿郎		1	23.7×32.2	「お願い」 南部家十一代信長公の弟弟信行奉納の髷口を模倣し、櫻山神社に参考資料として納め置く計画、会員の離出のお願い
181686	OR2-2	410	書簡	浄法寺で古墳が見つかったら教えてほしい(池田発)	○年1月9日	池田	小田島祿郎	1	18.2×77.0	封筒著しく破損
181687	OR2-2	411	原稿	「加賀国と加賀野に關係の有無につきて」他南部史談会誌原稿	○年8月、4月			1	25.0×17.0	・加賀国と加賀野との關係の有無につきて、第七回例会(四月十五日)の記述あり、先史時代より藤末期に至る文化流入の徑路と其普及状態
181688	OR2-2	412	実測図	一方井村地内遺跡、遺構図、竪穴実測図	10月17日実測			13	14.2×21.2 他	遺構(竪穴)位置図(職沢・栗木田宇宮沢)
181689	OR2-2	413	書簡	考古学研究会からの案内 3通	①昭和12年9月 ②昭和13年6月 ③昭和11年12月	京都市左京区下鴨 考古学研究会	小田島祿郎	3	19.7×54.5	①入会の案内、書籍の案内 ②書籍の案内 ③入会の案内、書籍の案内
181690	OR2-2	414	書簡	考古学会からの案内 4通	①昭和13年12月 ②昭和14年6月 ③昭和14年12月 ④昭和15年6月	東京市本郷区駒込千駄木 考古学会	浄法寺村 小田島祿郎	4	14.3×9.0	会費の請求 半年分三円
181691	OR2-2	415	書簡	考古学会からの会費の請求4通	①昭和15年12月1日 ②昭和16年9月 ③昭和16年6月 ④昭和17年3月	東京市本郷区駒込千駄木 考古学会	浄法寺村 小田島祿郎	4	25.7×17.9 26.0×18.1 25.3×18.7 26.0×18.1	会費の請求
181692	OR2-2	416	書簡	考古学会からの案内3通	①昭和17年11月15日 ②昭和17年8月5日 ③昭和13年9月3日	東京市本郷区駒込千駄木 日本考古学会	小田島祿郎	3	20.4×44.1 14.0×9.1 55.8×17.0	①②会費の請求 ③考古学雑誌の不備の補完するもの
181693	OR2-2	417	行政書簡	事務連絡等7通	①大正15年3月9日 ②昭和3年11月17日 ③昭和5年11月13日 ④昭和5年11月11日 ⑤ 年3月16日 ⑥ 年12月23日 ⑦大正14年7月28日	①岩手県内務部 ②岩手県学務部長 ③史跡名勝天然記念物調査委員 小田島祿郎 ④盛岡県庁 ⑤⑥岩手県 福田新三郎 ⑦岩手県	小田島祿郎(③のみ岩手県知事 久保豊四郎より返送)	5通1枚1綴	14.5×9.1 24.5×16.6 24.1×16.7 18.5×13.4 24.2×33.2 23.9×16.6	①書冊送付の(本県史蹟名勝天然記念物調査報告書1部送付)②圖書回報の件(未着圖書送返依頼)③旅費請求書(史跡調査のため一戸の二部出張)④手形金(二百円)払込依頼書⑤史跡調査委員の事務連絡⑥⑤と同様のものか?(劣化激しく判読不可)⑦封筒のみ
181694	OR2-2	418	書簡	手紙のみ南部史談会頒布願(小野より)	○年11月16日	小野次郎	小田島祿郎先生	1	23.2×17.8	南部史談会誌第七号一冊、残部あれば実費で頒布願いたい
181695	OR2-2	419	書簡	髷口の寄付金について(一ノ倉発佐佐木着)	○年12月30日	盛岡市 一ノ倉則文	盛岡市 佐佐木正郎	1	18.1×38.5	八角三郎氏から髷口の寄附金五円預かった
181696	OR2-2	420	書簡	拓本の銭について意見をききたい(三上発)	○年7月30日	三上香哉	小田島	2	24.3×33.4	手紙のみ 寛永通宝本一枚含む
181697	OR2-2	421	原稿	南部史談会誌素稿(気仙郡における指定決定の三貝塚 他)綴り	昭和	小田島祿郎		2冊	19.5×26.0	原稿(南部史談会誌)・貝塚・盛岡城(瓦)・古城・胆沢城(瓦)・立花(瓦)・伽羅御所(瓦)・髷口
181698	OR2-2	422	ハガキ	藩札や古銭の分譲願(青宝楼発)	昭和 8月3日	東京市本郷区天神町三丁目十九番地 青宝楼 小川浩	二戸郡浄法寺村 小田島祿郎	1	14.3×9.0	地方の藩札や七戸・八戸・黒石藩等の御座、他に古銭の珍品御分譲いただきたい
181699	OR2-2	423	書簡	挨拶並びに今後の指導のお願い(安城)	昭和 9月5日	花輪町 安城一杉	小田島祿郎	3	23.9×16.3	封筒なし 花輪町史編纂委嘱に伴い、史料蒐集で初めて南部氏別邸に行き南部史談会を知る折られた面に「勝朗に持たせるのを忘れましたものです」とあり
181700	OR2-2	424	ハガキ	史蹟調査依頼について(姉帯村長発)	昭和 年11月11日	二戸郡姉帯村長 中村忠市郎	二戸郡浄法寺町 小田島祿郎	1	14.0×9.0	田中庄一氏を通じて伝言
181701	OR2-2	425	書簡	山寺開山の慈覚大師についてご高教を仰ぎたい(伊澤発)	昭和 年11月25日	山形県東村山郡山寺村 伊澤不忍	二戸郡浄法寺町 小田島祿郎	1通1枚	25.4×17.5	菅野南部図書館長は「大師の南部の巡錫なし」と断言現代の佛学者島津は天台寺などをみると巡錫は伺われる、大師の足跡・天台寺の本尊は何佛か・獨古水・書写、宝物
181702	OR2-2	426	書簡	会誌における銅版写真の出来上がりについて(阿部雅写堂発)	昭和 年9月14日	盛岡市日影門 阿部雅写堂 阿部松三郎	二戸郡浄法寺村 小田島祿郎	1	23.6×17.4	出来上がり見本、新聞の切抜き3枚
181703	OR2-2	427	書簡	慈覚大師のことについて重ねて伺いたい(伊澤発)	昭和 年2月13日	山形県東村山郡山寺村 伊澤不忍	浄法寺町 小田島祿郎	1通2枚	24.3×16.7	11月25日到着のあとのもの、佛学者島津大師の話を別紙にて紹介
181704	OR2-2	428	書簡	「史談会誌」代金の送付及び次回からの会誌送付取りやめについて(阿部発)	昭和○年1月31日	上閉伊郡浄法寺村 阿部市治	小田島祿郎	1	24.2×33.4	手紙のみ
181705	OR2-2	429	書簡	お礼と今後のご指導のお願い(相馬発)	昭和○年8月26日	石切所中学校 相馬福太郎	浄法寺町 小田島祿郎	1	25.5×18.4	奥山、上里にある「ダンス」について 石塔について
181706	OR2-2	430	資料	「大和 宇智川藤産経碑」筆写	不明	不明		1	24.5×16.7	由来書、説明書を写したのものか?
181707	OR2-2	431	原稿	原稿下書?(山波堤の稿あり)	不明	不明		3(3枚写)	24.7×34.0	小田島祿郎の筆ではない可能性高い
181708	OR2-2	432	資料	吉田古墳についての説明、指定事由	不明	不明		2	25.3×19.0	謄写版印刷 吉田古墳 国指定史跡(大正11年3月8日指定)水戸市、6世紀半、大正3年4月発掘
181709	OR2-2	433	原稿	古墳ハ全縣調査ノ上…(下書)	不明	小田島祿郎		1	23.9×33.1	原稿用紙「岩谷堂資料高等女学校」と入ったもの(大正14年以降)
181710	OR2-2	434	原稿	「貝塚調査の終了近づく」下書	不明	小田島か		2	23.8×16.3	新聞記事用か
181711	OR2-2	435	原稿	「廣一、大泊銭もいられていることであるが、その盛岡と共に盛字異書につれて」原稿下書き	不明	小田島古彦(祿郎)		6	21.0×30.7	
181712	OR2-2	436	メモ書き	一方井遼太郎家系図ほか	不明	小田島祿郎		11	13.7×8.0 他	手帳の頁を破りメモ
181713	OR2-2	437	原稿	「一結論 二遺蹟ノ分布状態……」	不明	小田島祿郎		18	23.5×32.0	岩手郡誌?一方井村誌?
181714	OR2-2	438	原稿	「下閉伊九戸の史蹟踏査」	不明	小田島祿郎		2	22.5×32.0	
181715	OR2-2	439	原稿	原稿訂正箇所 綴	不明	小田島祿郎		1	24.3×17.0	「気仙郡赤崎村及小友村西盤井部老松村」の文あり 「日影村」
181716	OR2-2	440	メモ書き	阿弥陀堂に関するメモ	不明	不明		1	22.3×15.0	阿弥陀堂 法輪院ノ末、伝云藤原秀衡建立、寛治公延宝年中神貞院ノ願ニ依テ再興ス、○田城附近・南○銘記あるもの、○田城附近・華嚴寺(陸前高田市小友町門前)
181717	OR2-2	441	メモ書き	・越喜来新山社所蔵順礼札 ・花蔵寺(華嚴寺)に関すること	不明	小田島祿郎		2	23.7×16.8	

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181718	OR2-2	442	メモ書き	「博士撰定記入ノ件」	不明	小田島?		1	24.2×16.7	一、懸佛 一、古鏡 一、刀剣他 ※「岩手考古図集」に関する事か?
181719	OR2-2	443	原稿	「国宝級佛藏巡拝記」平野文助	不明	平野文助		1	24.7×16.6	南部史談会誌原稿
181720	OR2-2	444	原稿	「長慶天皇に関する講話」	不明	小田島?		7	24.8×15.5	便せんに記述
181722	OR2-2	446	原稿	「東叡山前大僧正幸願師小傳」佐藤東山	不明	佐藤東山		5	21.0×30.8	南部史談会誌の掲載原稿か?
181723	OR2-2	447	資料	「桂清水観音」にまつわる昔話の筆写?	不明	不明		2	24.6×16.8	
181724	OR2-2	448	原稿	南部史談会誌素稿他	不明				24.1×33.0	傷み著しい、欠損部多。種々混じる
181725	OR2-2	449	資料	歴史教科書編纂ノ点...	不明	不		1	18.1×104.0	何かの筆写か?・天孫降臨・朝鮮関係(三韓征服)・異種族「クマン」「アイヌ」
181726	OR2-2	450	資料	「森 實明の話」(謄写版) 「琵琶行 序」(謄写版)	不明			7	27.3×(37.5)	
181727	OR2-2	451	原稿	大吉、喜七、徳兵衛らが津軽側に従う経路についての見解(論文?)	不明	不		1	24.2×17.0	相馬大伴事件に関連するもの(大吉、喜七、徳兵衛らは相馬大伴の弟子) 筆書き
181728	OR2-2	452	資料	岩手郡誌目次(謄写版)	不明			1	24.7×16.5	大正十一年に計画されたもの(実際は、昭和十五年に刊行)
181729	OR2-2	453	メモ書き	何かの名簿	不明	小田島?		2	22.0×17.5	便箋に書かれているもの 国書幾太郎、小保内博之介、国分謙吉、柴田常憲、大場繁雄、池上啓介、大山柏らの名前が記されている
181730	OR2-2	454	行政文書	「岩手郡御堂村竪穴群保存ニ関スル意見書」(控え写し)	不詳	岩手縣史蹟名勝天然記念物調査委員会 小田島祿郎		1	25.8×18.4	仙波遺蹟に関するもの
181731	OR2-2	455	原稿	一方井村チャンに関するメモ及書簡	不詳	小田島祿郎		7+9枚	24.2×33.1	下書9枚 清書7枚
181732	OR2-2	456	資料	史蹟名勝天然記念物調べ(古墳ヲ除ク)と古墳編	不詳			1	27.7×19.7	謄写版印刷
181733	OR2-2	457	行政文書	「史蹟保存ノ件」下書か	不詳	小田島か?		1	24.8×33.9	〇年七月九日付通牒によると古墳は形式から保存すべきもの。十月十八日付懸報号外保存要目「少ナクトモ千三、四百年以前」に限られているよう。しかし本県はその時代が稀で、ほとんど千二百年以後のもの。しかし本県開発史上最も重要なもので県においては、このこと調査保存を講ずる意志はないのか...
181734	OR2-2	458	原稿	黒森山調査所感(写し)	不詳	小田島か?		1	24.6×17.0	宮古黒森山
181735	OR2-2	459	原稿	「九戸城址ニ関スル講演」	不詳	小田島		5	25.6×18.1	講演原稿か
181736	OR2-2	460	書簡	西磐井郡真瀧村附近の遺跡について	不詳	川村	小田島	1	18.3×120.5	
181737	OR2-2	461	資料	浄法寺古社寺記 写し(未完成)	不詳	不詳		1	24.0×33.0	筆書き
181738	OR2-2	462	メモ書き	一方井村地誌?に関するメモ	不明			1	(22.0)×16.4	用紙に日付欄あり、大正年月日の印刷
181787	OR2-2	511	印刷物	「荒瀧漆器の由来」パンフレット	不明	不明		1	14.6×9.8	汚れあり、書きこみあり、荒瀧村産南部塗台蓋について(岩手縣二戸郡荒瀧村)ほか
181788	OR2-2	512	絵ハガキ	「奥州平泉」未使用	不明	不明		5	14.0×9.0	本堂の写真、奥州平泉毛越寺古裏(兒舞)・舞臺破綻(勳舞舞)・田楽舞)の写真
181792	OR2-2	516	実測図	①貝層断面図(中澤浜A 下船渡、蛸浦貝塚)青焼 ②関谷洞窟断面及び断面図青焼	不明			10	①34×39 ②40×28	①②各5枚
181793	OR2-2	517	実測図	①貝層断面図(中澤浜A 下船渡、蛸浦貝塚)原図 ②関谷洞窟断面及び断面図原図	不明			2	①34×39 ②40×29	OR-2-2 516の原因
181794	OR2-2	518	実測図	九戸城周辺 横断面実測図	不明	不明			大21.5× 258.5 小(24.0)	
181795	OR2-2	519	実測図類	金田一三戸間線路法切蹟其他工事平面図(青焼)	不明	不明		1	57.0× 121.0	
181796	OR2-2	520	実測図	出土部材?(毛越寺?)	不明	不明		1	46.8×63.5	用紙端に「56池北方」48中島」「100池南」42南大門」の書込あり
181797	OR2-2	521	実測図	九戸城址実測図(600分の1)	不明	不明		1	136×156	劣化激しい
181799	OR2-2	523	印刷物	「武徳之辨」南部藩主 南部光行公...	不明	不明		3	22.1×15.0	南部藩主、遠野藩主名簿ほか
181800	OR2-2	524	原稿	「一方井村の遺跡について」下書き	不明	小田島祿郎		25	23.7×16.8 16.2×23.7 24.2×32.8 24.5×16.5 24.7×33.8	・巖手縣岩手郡一方井尋常高等小學校の裏紙にメモ書き ・宝積寺の鐫物の文字の写し
181801	OR2-2	525	メモ書き	田子村... 竪穴...	不明	小田島祿郎		1	23.7×31.8	竪穴、「チャン」についてのメモ書き
181802	OR2-2	526	資料	「専五、オシラサン調」手書き	不明	不明		1	23.7×32.3	一方井のオシラサマの調査表 尋常小學校五年生が調査の夏か
181803	OR2-2	527	行政文書	「気仙郡ニ於ケル史蹟名勝天然記念物調」	不明	小田島?		6	27.2×19.4	岩手縣署紙使用 下書きか・盛町皇子陵 高田町巖石、糠森他
181804	OR2-2	528	書簡	北海道在住?の人に問い合わせる内容下書きか	不明	小田島?	不明	1通(2枚)	24.8×(26.0)	北海道遺跡調査報告書中、チャン、竪穴に関するものの比較の指示願ひ・竪穴の土器と石器の共存関係・ツングース族の遺跡調査の有無・北海道弥生式遺跡の有無
181805	OR2-2	529	メモ書き	石棒?の図(中澤浜C)	不明			1	15.9×9.8	厚紙に石棒?の図と「木石刀式その一中澤浜C」の文字
181806	OR2-2	530	メモ書き	会誌代金徴収の内訳か?	不明	不明	小田島祿郎	1	18.1×49.5	十八号、十九号について名前と金額あり
181807	OR2-2	531	印刷物	岩手県国宝保存会則(名簿)	不明	岩手県国宝保存会	小田島祿郎	2	18.6×35.4	名誉会長田中館家権、会長村上順平、副会長太田孝太郎、常任委員小田島祿郎、他23名
181808	OR2-2	532	原稿	下書(九戸城関係)	不明	小田島祿郎		1	24.1×33.2	外館、若狭館等の外...
181809	OR2-2	533	メモ書き	遺跡、遺物の関連の数量?	不明	不明		1	23.5×16.1	石器時代遺物郡内外一五...

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181810	OR2-2	534	書簡	遺物をみせてくれたことに関するお礼と今後の研究への期待 下書き 未発信	不明	小田島祿郎?	不明	1	24.0×16.4	
181811	OR2-2	535	書簡	北上川流域の文化交渉について、岩谷堂での探査のことなど 下書き	不明	小田島祿郎		1	23.7×16.5	・北上川流域の文化交渉について ・神真部まで終了し胆沢部に入ったこと、岩谷堂での探査のこと、 ・田老村、安塚、岩泉などの探査に当地の先生方の援助が欲しいこと、 ・調査報告書の提出が遅れること、 などについて書かれている
181812	OR2-2	536	書簡	毘沙門天の写真の修正について(写真館ライト発)	不明	写真館 ライト 唐徳吾	小田島先生	1通2枚	22.0×18.8	・毘沙門天の三面復原・秋金剛・吉祥天の二体は原状を塗りつぶして焼いたものを送付した。(「大正と入っている封筒で郵送切手添付跡なし」)
181813	OR2-2	537	書簡	「真金山金山」の筆写送付(小館発)	不明	盛岡市菜園一ノ四七 小館長右エ門	二戸郡浄法寺町 小田島祿郎	1通2枚	16.0×25.2	『隼山脚立年限附』(尾谷沢阿部佐一郎家文書)掲載の「真金山金山」の筆写を送付
181814	OR2-2	538	書簡	古墳の調査 出版命令の要望 下書き	不明(9月24日以降)	(小田島)	不明	1	24.3×33.6	行政的な内容も含まれるが、通常の手紙の文体
181815	OR2-2	539	印刷物	神社実態調査票	昭和38年頃	岩手県神社庁		1	25.7×36.3	部分的に記入あるが、未提出
181816	OR2-2	540	原稿	近世供養碑関係				2	24.7×33.4	一方井村付近か、文中に「板碑」の用語が用いられるが、内容は近世供養碑
181817	OR2-2	541	行政文書	史蹟調査(斗米村大字下斗米字寺久保内)				2	(27.0)×20.5	下書きと思われる
181818	OR2-2	542	名刺	「八幡一部」「公爵 大山柏」				2		八幡の肩書きは「東京帝国大学理学部助手」
181819	OR2-2	543	絵ハガキ	多賀城関係ほか 未使用				3	14.1×9.1	1枚宛名面に「藤崎四郎」の印あり
181820	OR2-2	544	メモ書き	白濱貝塚 貝輪など				2	24.2×33.3	貝の種類・貝輪について
181821	OR2-2	545	メモ書き	胆沢城、古城、平泉など				3	22.0×(14.0)	土器などの標本の数について記録したもの?
181822	OR2-2	546	メモ書き	江刺 北鶴ノ木他周辺の遺跡の位置・特徴について				1	24.1×32.6	北鶴ノ木古城址・羽黒堂チャシ・五位塚他
181823	OR2-2	547	メモ書き	工事中モノノ 岩手郡・・・				1	37.×26.6	現在工事中又は今後工事に入ると思われる地名
181824	OR2-2	548	実測図	登窯の実測図				4	23.4×32.0	「稲瀬道下」の記述があり、瀬谷子窯関係か
181826	OR2-2	550	資料	鯉口代徴収名簿 他 南部史談会誌関係				1冊7枚	28.7×22.3	徴収名簿はノート
181827	OR2-2	551	資料	「鳥海堀跡附近遺跡」				1	27.5×39.7	謄写版? 裏に「花巻川口町仲小路平野立乾」と色えんぴつ書あり
181831	OR2-2	555	資料	勝澤郡古城村大字古城 寺蹟図		勝澤郡古城村 菅原西右衛門	岩手縣立岩谷高等女学校 小田嶋先生	2	39.8×55.0	封筒入り 地図ベースは地籍図の写し
181832	OR2-2	556	実測図	土器把手?				1	27.0×38.3	傷み著しい
181834	OR2-2	558	書簡	講求書(写真機、乾板、現像道具一式)	大正10年5月1日	盛岡市本町 田口商店	小田嶋	3	15.6×22.5 他	カビ本写真機38円 総計50円請求
181835	OR2-2	559	実測図	地形の断面?				1	24.0×33.2	メモ書きとすべしか
181836	OR2-2	560	メモ書き	松館池邦治方 土器破片・・・				1	(15.0)×(10.0)	一聞、藤田上野、西川日、落合大正15年3月の記載あり
181837	OR2-2	561	資料	一方井付近街道図				1	34.0×(24.5)	手書き 一方井の道路と集落地図
181838	OR2-2	562	資料	城館の縄張り 表題なし				3	33.5×48.5	下書きと清書 城館名不明
181839	OR2-2	563	資料	堅穴分布図 手書き				5	24.4×65.3	堅穴分布図(浄法寺村鏡田、陸軍用地内(北方ノ部)、小松林)
181840	OR2-2	564	資料	「舊本丸及二ノ丸城址調査」				1冊4枚	28.0×20.0	土地所有者の表 九戸城か
181841	OR2-2	565	資料	岩谷堂町増澤部落略図に加筆				2	31.5×22.6	謄写版刷りの「岩谷堂町増澤部落略図」に彩色、ドットを加筆
181842	OR2-2	566	資料	新聞記事切り抜き(細浦、舞良貝塚の発掘)				1	11.6×9.5	「日本文化史訂正の資料 貝塚から出土した人骨と共に宝玉が出土、その出所についての記事」
181843	OR2-2	567	資料	資料を入れた封筒「九戸城址調査」と表題				1	33.5×24.6	九戸城関係が入っていた封筒
181844	OR2-2	568	資料	一方井村内遺蹟調査実測図、元図、メモ				24	24.5×33.3 他	
181845	OR2-2	569	資料	一方井村地内チャシノ部 表 一方井村周辺 馬高 調査票				4	24.7×33.1 他	
181846	OR2-2	570	資料	荒木田、黒内之部遺蹟 手書き				1	47.5×32.5	一方井村
181847	OR2-2	571	原稿	一方井村内の調査に係わる原稿下書き				17	24.5×33.5	
181848	OR2-2	572	資料	「札幌市 河野常吉氏 1チャシハ・・・」				3	23.6×16.2	河野常吉の「チャシ」についての見解をまとめたもの
181849	OR2-2	573	印刷物	岩手縣史料展覧會第一回出陣目録		岩手縣教育會		1	54.5×79.0	印刷
181858	OR2-2	582	資料	新聞スクラップ帳(瀬谷子窯跡、雨滝遺跡記事 他)	大正14年、15年の記事	小田島祿郎		1	19.0×23.0	岩手日報、東京日日など 自分筆以外の記事も含む (長女の英語のノートを使用)
181859	OR2-2	583	資料	新聞切り抜き(尾上金城氏兼一長慶天皇に関するもの)	昭和7年、8年	小田島祿郎		31	16.0×9.7 他	岩手日報、岩手毎日他 黒森神社舎
181862	OR2-2	586	資料	新聞切り抜き(小田島関連記事中心)	昭和3年12月25日 昭和7年9月3日	小田島祿郎		3	19.0×27.0 他	・岩手民衆新聞 藤里村智福の佛像に就いて(一、二)(昭和3年12月25日)・岩手毎日新聞(昭和7年9月3日)今松遺跡、仙波堤遺跡の保存指定に関する記事
181863	OR2-2	587	資料	新聞切り抜き(県内歴史関係)	昭和7年～9年(?)	小田島祿郎		35	18.0×10.5 他	・鳥海堀(一～六)・舟橋と明治橋(九、十一～十三)萬年青年老人 ・甲斐南部に遊ぶ(一、二)藤巻長作 ・鬼柳氏の秘蔵の古文書(一～五)上田芳一郎・天保四年の米騒動(二～七)森島兵衛・南部藩首領流社書史 森島兵衛・白鳥の受難(一～六)①、② 鈴木重男・鈴木重男 文(二)・馬格印と家紋並に商標との関係(5)(6)駒形堂仙行
181864	OR2-2	588	資料	新聞切り抜き(考古学関係)	戦前	小田島祿郎		16	14.0×40.5 他	様々な新聞あり

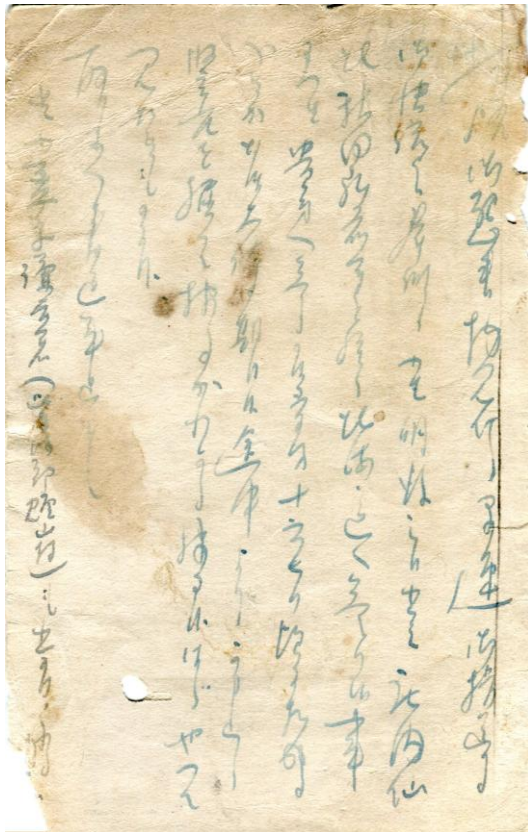
登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作者(発信)	宛名	数量	法量	備考
181882	OR2-2	806	印刷物	「天台宗寺門派 総本山長等山 園城寺 加藍案内略記」				1	27.1 × 39.1	パンフレット
181883	OR2-2	807	印刷物	「岩谷堂附近 名勝案内 考古」	大正14年8月8日発行	岩谷堂町振興会		2	18.7 × 11.3	パンフレット 同じもの2冊
181885	OR2-2	808	印刷物	「岩谷堂附近 名勝案内 考古」	大正14年8月8日発行	岩谷堂町振興会	不明	1	18.7 × 11.3	表が破損し二つに分かれている。181883と同じもの
181886	OR2-2	810	印刷物	「住所入 東北産業博覧會案内圖 索引 附 仙台市」	昭和2年12月15日発行	二階堂節治		1	54.5 × 78.5	仙台市の地図
181887	OR2-2	811	行政文書	「蘇報號外」	大正9年10月18日(月)			1	21.7 × 14.0	「史蹟名勝天然記念物二關スル規程」印刷物
181888	OR2-2	812	資料	「史蹟厨川橋址確認快報の展望 上 小笠原迷宮」岩手日報掲載	昭和10年8月23日			1	44.5 × 80.6	岩手日報紙面切り抜かず
181889	OR2-2	813	資料	「史蹟厨川橋址確認快報の展望 下 小笠原迷宮」岩手日報掲載	昭和10年8月24日			1	44.5 × 80.6	岩手日報紙面切り抜かず
181890	OR2-2	814	資料	「北上日本民族の最初の根據地 一千二百年前に築城のカクベツ城 山ノ目で菅野氏発見」岩手日報掲載	昭和10年8月21日			1	44.5 × (50.5)	岩手日報紙面切り抜かず
181891	OR2-2	815	印刷物	「大日本金石史発行記念 金石文拓本展覧會目錄」	大正10年12月3日	大阪 好尚會出版部		1	17.9 × 10.0	小冊子 於大阪美術倶楽部
181895	OR2-2	819	資料	新聞記事の筆写	(記事掲載 大正14年3月14日)	小田島か		1	23.6 × 16.1	菅公夫人墓についての、大正十四年三月十四日、報知新聞記事か
181897	OR2-2	821	資料	地割図写し 場所不明				1	28.5 × 40.0	山林の境、持主、郡界
181899	OR2-2	823	拓本	鯛口(青森県名川町斗賀神社)	正平21年3月3日(1366)			1	74.0 × 82.0	「正平廿一年三月二日 大旦那大信關尊」
181900	OR2-2	824	印刷物	「松嶋案内 瑞巖寺略傳」	明治32年5月20日	瑞巖寺		1	18.8 × 13.3	小冊子 松島の案内記
181901	OR2-2	825	資料	「北松齋公のこと」他 新聞切り抜き	①昭和10年3月20、22、23日 ②昭和10年3月23日 ほか	不明		7	22.2 × 29.0 他	①「北松齋公のこと」(一)～(三) 岩手日報 ②「革命的發明者 澤藤氏は北福岡人」ほか
181902	OR2-2	826	手帳	フィールドノート? 年次不明		小田島祿郎		1	16.5 × 10.0	一方井村周辺遺跡メモ、祝詞、祭典ノ式次第など
181903	OR2-2	827	資料	「岩鷲山(神明社)別当 白光坊 口上覧、古文書、由緒書」を筆写したもの	原資料 天保12年(1841)寛政9年(1797)宝暦10年(1760)			8	24.5 × 33.4	「口上之覽」「白坊家古文書 修験持持堂」「白光坊由緒書」「白光坊家古文書ノ内」
181904	OR2-2	828	原稿	「宝積寺由緒事、一方井村板碑」		小田島?		10	(23.0) × 16.8	カーボン紙複写「板碑」の図あり「板碑」は近世供養碑を指している
181905	OR2-2	829	資料	捺地帳を筆写したもの		小田島?写		3	(24.0) × 33.2	小瀧村(貞享四年)、里内村(天保五年)、久保村(文政十年、安永五年)
181906	OR2-2	830	印刷物	岩手考古図集の頒布案内		岩手県教育会江刺郡部会長 黒澤喜一郎		1	22.9 × 32.2	謄写版印刷 未使用のもの
181907	OR2-2	831	原稿	佐佐木正郎原稿「起請文ノ起原井南部信直公前田蒲生両氏起請文取り替ハシノ話」・戸田一心流師範家ト相撲大闘ト試合ノ話・老翁ヨリ聞キシ江村先生夜間度胸試メシニ過フヲ実話ほか		佐佐木正郎		1	24.8 × 17.0	南部史談会誌関係
181908	OR2-2	832	資料	新田開発における証文等の筆写綴り		小田島?		1	24.8 × 17.0	証文写しには、文化二年、天保二年などの記述あり
181909	OR2-2	833	書簡	遺跡発掘の昨今の情況並びに保護について(下書き)	昭和初～10年?(文面より)	小田島祿郎		1	25.7 × 36.5	手紙の下書きか
181910	OR2-2	834	行政書簡	復命書の提出について(平賀鳳発)	12月18日	平賀鳳(平賀伊吉)	小田島祿郎	3	24.0 × 16.7	2通 岩手縣署紙使用 封筒無し
181911	OR2-2	835	ハガキ	「保存会長九鬼謙一郎 寶香委員長高村耕堂師 明治四十年五月国宝に編入さる」	消印不明瞭	福島県 大瀧村 長陸寺	江刺郡岩谷堂高等女学校 小田島祿郎	1	14.0 × 9.1	絵紙ハガキ(鎌倉園興寺長老木道地蔵菩薩像)使用
181912	OR2-2	836	御札類	御守、御札などバラ				11		・高野山金剛峯寺のもの(3) ・鹽竈神社のもの(6) ・鹽竈神社のもの(1) ・立花村毘沙門堂のもの(1)
181913	OR2-2	837	メモ書き	「粟林錢座の研究」	不明	小田島?		2	24.2 × 33.5	略図もあり。
181914	OR2-2	838	メモ書き	瓦に関する内容(煙草 敷島の箱に書く)	不明	小田島?		1	16.0 × 9.0	・胆沢城、立花、柳、伽羅の瓦に関するメモ書
182047	OR2-2	771	書簡	「岩手考古図集」御札(釜澤発)	大正15年8月15日	金田一村 釜澤忠雄	岩谷堂町八日市 小田島祿郎	1	15.4 × 19.8	
182052	OR2-2	776	ハガキ	考古図集代金のこと	大正15年9月22日	東山興田村 高橋	岩谷堂高等女学校内 小田島祿郎	1	14.1 × 9.0	
182053	OR2-2	777	書簡	記事(小田島筆)の掲載日延期のお願い(日報社後藤発)	大正15年9月23日	(株)岩手日報社 後藤清明	岩谷堂町 高等女学校内 小田島祿郎	1通3枚	23.5 × 16.2	・太田社長よりの伝言「記事掲載日の延期について」2枚 ・郵便物受領証(同封) 小田島子エ子受領(大正十五年九月二十五日)
182055	OR2-2	779	書簡	封筒のみ	大正15年12月23日	東北帝国大学法文学部内 奥羽史料調査部 山本樹蔵	江刺郡岩谷堂町 小田島祿郎	1	17.0 × 11.5	封筒に「写真一葉」とあるが、中には入っていない。
182056	OR2-2	780	書簡	舌崎遺跡調査当時の家族への手紙(祿郎発)	(大正15年?)12日	小田島録郎	小田島すゑ子	1	24.0 × 28.2	・拓本のための肉入と紙が必要になった理由・予定より遅れている理由 ・測量部の絵画(ママ)「一戸」「三戸」の要求
182096	OR2-2	820	書簡	封筒のみ(高橋発)	大正15年7月28日	宮城県登米郡南方村高橋清次郎	岩谷堂 小田島祿郎	1	21.0 × 8.5	
182097	OR2-2	821	書簡	博物館建設について(遠間発)	昭和5年8月1日(8月2日)	北海道北見遠軽町郷土博物館創立事業所内 遠間栄治	江刺郡岩谷堂 小田島祿郎(下小路へ転送)	1	24.5 × 33.6	謄写版印刷
182126	OR2-2	850	書簡	封筒のみ(日本考古学会発)	昭和7年4月2日	日本考古学会	浄法寺村 小田島祿郎	1	20.3 × 8.3	
182138	OR2-2	862	ハガキ	当地方には全く希望者が無い回答(川村発)	昭和9年8月8日 消印	剣吉小学校 川村	盛岡市新小路 小田島祿郎	1	14.0 × 9.0	当地方には全く希望者がなく申し訳ない 研究者(名久井村長 佐藤藤次郎、鳥舌内小学校 西塚音吉) 古銭研究者(斗賀小学校 三浦勘次、港小学校 丸山薫、田面木小学校 小井川潤次)
182141	OR2-2	865	原稿	論文の引用文献の頁の断片	昭和9年10月30日	小笠原迷宮か		1	24.4 × 16.7	「小笠原迷宮用紙」使用
182173	OR2-2	897	ハガキ	原稿返却について(阿部謙堂発)	昭和11年12月30日	盛岡市日影門外小路 阿部謙堂	浄法寺村 小田島祿郎	1	14.1 × 9.0	原稿の預分について
182182	OR2-2	906	ハガキ	「早池峰文化創刊号」郵送、顧問依頼	昭和12年8月11日	早池峰文化協会	浄法寺町 小田島祿郎	1	13.9 × 8.4	

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
182187	OR2-2	911	ハガキ	あいさつ(新潟郷土館発)	昭和13年1月18日	中野財団 新潟郷土博物館 齊藤秀平	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1	14.0×9.0	ハガキ 印刷物
182190	OR2-2	914	ハガキ	近況報告(田口発)	昭和13年2月29日	秋田県鹿角郡錦木村錦木 田口傳七郎	二戸郡浄法寺村浄法寺 小田島禎郎	1	14.0×9.0	南部史談会誌の再発行を祈る
182199	OR2-2	923	書簡	社会経済史学会大会開催(社会経済史学会発)	昭和13年10月10日	東京市小石川 社会経済史学会	盛岡市加賀野新小路 南部史談会御中	1	14.0×18.5	
182219	OR2-2	943	ハガキ	近況報告(松尾発)	昭和14年2月18日	堀野 松尾源次郎	二戸郡浄法寺村 小田島禎郎	1	13.9×9.0	「九戸軍記」の写しを行っているところ
182229	OR2-2	953	雑誌	綜合古瓦研究 第二分冊 歴史と美術史 夢殿第十九冊特輯號	昭和14年11月	鶴 故郷舎		1	24.6×16.5	
182643	OR2-2	1387	ハガキ 書簡	考古学会等発(2件)	①昭和23年1月6日 ②昭和14年1月1日	①千葉県市川市考古学研究所 ②京都市左京区考古学研究会	浄法寺 小田島禎郎	2	14.0×8.5 20.0×45.5	①購読者募集 ②入会案内
182875	OR2-2	1599	ハガキ	挨拶	昭和22年4月11日	盛岡市鹿島下 長野正行	二戸郡浄法寺町 小田島禎郎	1	ハガキ	森嘉兵衛先生の紹介でお宅を訪ねさせていたのだが、留守であった
182888	OR2-2	1612	書簡	土器借用の異見	5月	広田校 佐々木	小田島禎郎	3	23.7×16.1	小学校にあった土器を返却してもらいたい。写真を撮ったら返す約束のはずである。
183126	OR2-2	1850	雑誌	「地理学研究」	昭和5年9月号 昭和6年1、2、5、9月号	地理学研究会	小田島禎郎	5	22.0×15.2	書簡で送付
183144	OR2-2	1868	書簡	遺跡のことなど 下書き		小田島禎郎	雷澤理事官	1		1枚目欠で内容不明瞭
183205	OR2-2	1929	書籍	「奈良帝室博物館圖書一覽」	大正9年12月20日	奈良帝室博物館		1	17.4×9.4	
183208	OR2-2	1932	書籍	「黒石寺小誌」	昭和3年9月22日発行	黒石寺内 藤波 麒		1	四六判	
183209	OR2-2	1933	雑誌	「考古学雑誌 第二十九巻 第四號」	昭和14年4月	考古学会	加賀野新小路 南部史談会	1	菊判	送付用封筒入り
183211	OR2-2	1935	書籍	「奈良帝室博物館彫刻一覽」	大正8年12月23日	奈良帝室博物館		1	18.0×12.6	
183236	OR2-2	1980	書籍	日本遺蹟遺物圖譜 第一輯～第五輯	一輯 大正5年4月1日 二輯 大正5年5月14日 三輯 大正5年6月25日 四輯 大正5年7月5日 五輯 大正5年8月30日	遺蹟遺物研究会		5	34×45	遺物写真と解説文がシート状になった形態のもの、各輯毎袋入り
183238	OR2-2	1982	雑誌	「郷土研究 新風土記 拾二月號」	昭和15年12月10日	日本郷土會		1	菊判	
183256	OR2-2	1980	雑誌	「地理学研究 第八巻 第三號」	昭和6年3月1日	東京 地理学研究所		1	菊判	綴じ部の損傷激しい。
183257	OR2-2	1981	雑誌	「歴史地理 第四十九巻 第三號」	昭和2年3月1日	日本歴史地理學會		1	菊判	表紙、裏表紙なし
183258	OR2-2	1982	雑誌	「歴史地理 第四十八巻 第三號」	大正15年9月1日	日本歴史地理學會		1	菊判	表紙、裏表紙なし。劣化している。
183259	OR2-2	1983	雑誌	「蝦夷往來 創刊號」	昭和6年1月5日	書肆 尚古堂		1	菊判	表紙なし
183260	OR2-2	1984	雑誌	「考古学雑誌 第二十八巻 第八號」	昭和13年8月1日	考古学会		1	菊判	左上部の欠損、シミあり
183261	OR2-2	1985	雑誌	「考古学雑誌 第二十一巻 第九號」	昭和6年9月5日	考古学会		1	菊判	左上欠損あり
183262	OR2-2	1986	雑誌	「考古学雑誌 第十九巻 第八號」	昭和4年8月5日	考古学会		1	菊判	表紙なし。綴じ取れている
183263	OR2-2	1987	雑誌	「南部史談會誌 第四號」表紙他		南部史談會		1冊他4枚	菊判	南部史談會に關係すると思われる不明図3枚、正誤表1枚 パラパラの断片の状態
183265	OR2-2	1989	写真	独鈷石 写真				1	手札判	紙焼き ガラス乾板判にあり(既登録)
183266	OR2-2	1990	写真	瓦3枚				3	12.0×8.1	紙焼き 1枚は丸瓦実測用の写真 「南部史談會誌」表紙に使用したものか
183267	OR2-2	1991	原稿	一方井村寺松遺跡・仙波塚遺跡写真版下		小田島禎郎		6	22.0×15.5	岩手県1924「岩手縣史蹟名勝天然記念物調査報告第四号 県下に於ける竅穴及び「チヤシ」に関するもの其の一」掲載写真 第6図～9図 第12図・13図
183268	OR2-2	1992	写真	紙焼き 遺跡、断面、遺物、瓦等 59枚				59	キャビネ判	同じもの多数あり(自分で焼いたものか?)うち2枚メモ書きあり ・第一四図(土器底部木葉痕) ・国香彦助氏蔵品 中土版形土器正面 ・識別できないもの多い
183269	OR2-2	1993	写真	土器、石器類 写真				10	手札判	紙焼き ガラス乾板判にあり(既登録)
183270	OR2-2	1994	写真	遺跡風景写真?	不明			1	キャビネ版	岩手町一方井か?劣化著しい
183271	OR2-2	1995	写真	二条城?	不明			9	9×13	裏に「⑩二條城写」と書き込み
183272	OR2-2	1996	写真	鳥居、社殿	不明			1	キャビネ判か	場所不明 半分ほどの断片
183273	OR2-2	1997	写真	風景写真等23枚				23	キャビネ判か	紙焼き 損傷著しい 半分ほどの断片
183274	OR2-2	1998	写真	①宝塔1枚 ②宝篋印塔1枚				2	手札判	紙焼き ②は欠損
183275	OR2-2	1999	写真	大黒天像				1	名刺判	紙焼き
183278	OR2-2	2002	写真	①香炉型2点 2枚 ②陶器壺 2枚				4	手札判	紙焼き「さくらフィルムバック」の袋に入る。別に乾板あり(既登録)
183281	OR2-2	2005	写真	骨角器等 6枚				6	キャビネ判	紙焼き 乾板は既登録
183282	OR2-2	2006	拓本 書簡	瓦類拓本(宮城県鳴子町周辺出土か)	昭和8年4月15日消印	宮城県玉造町鳴子町車邊(辨)点瀬 私立博物館主 山口仁道	盛岡市加賀野新小路 小田島禎郎	7		封書入り 大小7枚 瓦の拓本
183283	OR2-2	2007	拓本	「黒沢尻川岸出土土器 耕作組合蔵」	不明			4枚	21.6×35.6 他	14カット 土器拓本(縄文晩期)
183284	OR2-2	2008	拓本	「登米郡南方村高橋清次郎蔵」登米郡米山村中津山網場神社境内)岩版拓本、「平貝貝塚」土版拓本、「青島」土製品拓本、「初形?草」土偶?拓本、「平貝」土偶拓本、「大多古」土偶拓本、「青島角器」拓本				2	37×40 36×41	「登米郡米山村中津山網場神社境内)岩版は重要文化財指定・毛利コレクション」
183285	OR2-2	2009	拓本	「登米郡南方村高橋清次郎蔵」遠田郡田尻町字八幡八幡神社境内)瓦拓本、「栗原郡安養寺跡」瓦、「国分寺」文字瓦拓本、「多賀城」文字瓦				1	41.0×37.0	同一紙に採拓
183286	OR2-2	2010	拓本	①「福島新地小川貝塚(壺形土器)」拓本 ②「磯崎村松島地蔵横穴出土」土器拓本				2	①43×13 ②41×18	

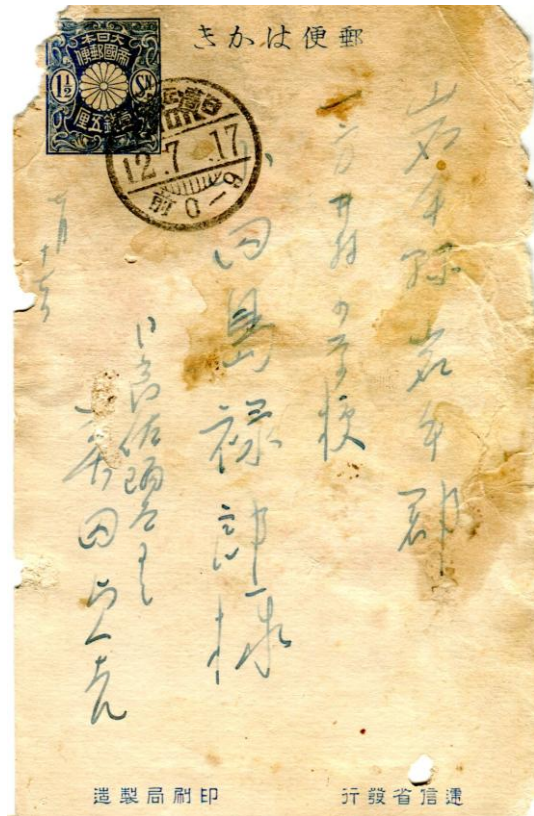
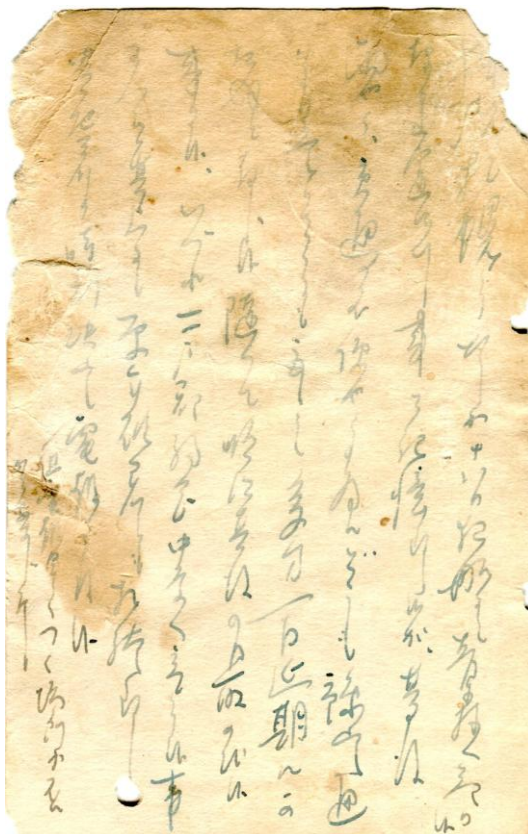
登録番号	コレクション分類	番号	種別	種類	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	質量	備考
183287	OR2-2	2011	拓本	「仙台市国分町伊勢斎助氏蔵 咸和三三年」拓本	咸和(渤海)3年(833年)			1	26×55	
183288	OR2-2	2012	拓本	寶積寺梵鐘(一方井村)	寛永21年(1644年)銘			8	26.0×57.0	6カット 梵鐘以外の正徳5年銘の木製品?拓本2枚(同一のもの)あり
183289	OR2-2	2013	拓本	①陸前高田市小友町八幡神社路傍墓標 ②陸前高田市小友町阿替戸隠神社板碑	①安永3年9月26日 ②永徳4年			2	25.0×137.0 他	他に短冊等あり
183290	OR2-2	2014	拓本	「大正六年四月 登米郡北方村船越上ノ台出土」拓本(蛙石の類か)				2	38×90 38×81	扁平な石に魚?状の線刻多数
183291	OR2-2	2015	拓本	天台寺銅鐘拓本	元中2年(1392年)3月6日			1	81.0×38.0	
183292	OR2-2	2016	拓本	石碑?拓本				1	31.0×56.0	刻字等不明
183293	OR2-2	2017	拓本	「黒沢尻川岸(役場)」土器、土偶拓本2枚				2	27.0×83.0	縄文晩期 土器に(1)~(4)の番号を注記
183294	OR2-2	2018	拓本	「鳥根県国分寺金蔵寺」「高麗」「新羅」他瓦拓本10枚				10	20.5×37.5 他	・金蔵寺(指定地)1点 ・新羅 寺 14点 ・高麗 7点
183295	OR2-2	2019	拓本	「仙台市国分町伊勢斎助氏蔵 多賀城跡出土土杯系」丸瓦拓本				1	34×44	ペン書き「三、一〇、二八 国分寺西方畑ニ於テ同式ノモノヲ発見セリ」
183296	OR2-2	2020	拓本	「愛知県北野」瓦他拓本5枚				5	34.5×68.0 他	
183297	OR2-2	2021	拓本	「胆沢城出土土器」拓本				1	37.0×41.0	一紙に19片 須恵器、瓦片
183298	OR2-2	2022	拓本	「羽田村永田氏蔵」鏡、遠野八幡宮銅板祈願文拓本	銅板 元禄3年2月吉日(1690)	銅板 治工小泉五郎 藤原清則		1	43.0×51.0	奥州南部閉伊郡遠野藩城下若宮八幡本尊請佛座像御長八十二分臺座後光共二尺七分爲武運長久方民與樂建之奉安置信心大願主新羅三郎義光二十九代孫遠野城主南部氏八戸孫六郎源朝臣義論未有 遠宮導師東善寺 法師快翁持
183299	OR2-2	2023	拓本	「江刺郡伊手村郵便局遠辺氏蔵下伊手沢田出土」「伊手村役場蔵 下伊手沢田出土」土器拓本				1	17×68	縄文土器2個体分同一紙に拓本
183300	OR2-2	2024	拓本	「吉崎出土 大向誠蔵氏蔵」土器拓本2枚				2	17×42 37×23	土器は合計3点
183301	OR2-2	2025	拓本	「千葉郡山内氏蔵 下総横橋貝塚(コテハシ)」土器片拓本				1	23.0×36.0	土器片22片
183302	OR2-2	2026	拓本	「常陸国分寺瓦」拓本				1	41.0×38.0	「常陸国分寺瓦」とペン書き
183303	OR2-2	2027	拓本	中国貨幣拓本2枚				2	38.0×41.0	「凡四千年前ニハ貨幣ハ貝ヲ用ヒ三千年前比ニ骨ニテ作レリ貝貨雖三千年前ニハ農具ヲ形シテリ」「武帝帝」安曇氏一金」他
183304	OR2-2	2028	拓本	土偶、鍍型土製品拓本				1	38×40	遺跡不明 いずれも縄文時代後期の遺物
183305	OR2-2	2029	拓本	「秋田県仙北郡 厚二分五厘」鏡?拓本				1	48×30	「厚二分五厘」は約7.9mmか
183306	OR2-2	2030	拓本	丸瓦(巴紋)拓本				1	29×40	
183307	OR2-2	2031	拓本	板碑?拓本				1	41.0×28.5	種子パーク 「道金?」
183308	OR2-2	2032	拓本	①柄鏡・方鏡拓本 ②柄鏡・方鏡拓本 ③方鏡拓本 ④天神?・狐石碑?拓本 ⑤磐石拓本				5	①18×32 ②19×32 ③9×19 ④37×41 ⑤37×35	
183309	OR2-2	2033	拓本	「柳ノ御所」「伽羅葉御所」他 瓦一括				10	41.0×37.0 他	「稲瀬」「小経丸瓦表」「裏」他 切り抜き多い
183310	OR2-2	2034	拓本	①「随時代」碑?拓本 ②半両銭鏝型拓本 ③「養時代」中国瓦拓本 ④「元時代」おもり拓本 ⑤「随時代」碑?拓本 ⑥「随時代」碑?拓本				6	①32×49 ②14×34 ③19×32 ④14×16 ⑤15×36 ⑥15×38	同じ封筒に入っていた「」はペン書きの文字
183311	OR2-2	2035	拓本	⑦「養」瓦拓本 ⑧「養時代」瓦拓本 ⑨「漢」瓦拓本 ⑩「三代」瓦拓本				3	⑦21×26 ⑧21×28 ⑨19×24 ⑩21×28	OR2-2・2035と同封になっていた「」はペン書きの文字
183312	OR2-2	2036	拓本	⑪「漢時代」瓦拓本 ⑫「漢」瓦拓本 ⑬「漢時代」瓦?拓本				3	⑪21×31 ⑫16×21 ⑬21×28	OR3-21同封①~⑤「夢庵」?
183313	OR2-2	2037	拓本	④「韓頭祖遺像 六朝永熙三年」 ⑤「龍門遺像 六朝時代」(正始四年)	④永熙3年(534年) ⑤正始4年2月(567年)		2	④35×70 ⑤26×51	④「夢庵蔵」押印 OR2-2・2035同封になっていた	
183314	OR2-2	2038	拓本	⑥伊勢山田山出土土鏡?瓦 ⑦伊藤治郎助翁像記				2	⑥25×33 ⑦24×65	OR2-2・2035と同封になっていた
183315	OR2-2	2039	拓本	①「米里村菊池正助氏蔵」現拓本 ②「米里村菊池正助氏蔵」鏡拓本 ③鏡拓本(中国銭) ④鏡拓本(中国銭、輪銭)				4	22×24他	①②には「米里村菊池正助氏蔵」のペン書きあり
183316	OR2-2	2040	拓本	稲荷社額	文政6年6月(1823)	「小田嶋熊ノ丞八歳書」		1	28×65	「稲荷社 小田嶋熊ノ丞八歳書」
183317	OR2-2	2041	拓本	鯉子・懸仏?の外周の拓本	延長8年8月18日(延長はママ)			1	64×68	「朱雀院御建立壽徳山澤両寺延長八年八月十八日 奉請大壇那種子開白給?口棟?山?別當南嶽乾代敬白」
183318	OR2-2	2042	メモ書き	常陸石岡付近の手書き地図				1	19×21	「丹?塚山古墳」「礎石」などの位置を示した路地図が便箋に鉛筆書き
183319	OR2-2	2043	拓本	土器底部 拓本4点				4	9×9. 他	いずれも木葉痕の拓本 切り抜いてある。
183320	OR2-2	2044	拓本	①紫波町土館金田熊野神社板碑 ②紫波町土館金田熊野神社板碑	①元亨2年9月12日 ②元亨3年?月			2	90×40他	封筒入り 封筒に「拓本 支那拓本鏡二 古碑三」とペン書き
183321	OR2-2	2045	拓本	①和鏡(2面同一紙に採拓) ②懸仏 ③縄文晩期土版(同じ物4枚) ④明応5年(1496)銘墓碑?	④明応5年6月24日			7	38.0×83.0 他	183320と同じ封筒に入っていた
183322	OR2-2	2046	拓本	絵銭(銭竿付)				1	14×48	銭竿についた絵銭5枚
183323	OR2-2	2047	拓本類	「盛岡福岡通柏木御山 御日佛所」印、絵銭拓本				1	89.0×91.0	同一紙に採拓本 押印 絵銭4種類

登録番号	コレクション分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	質量	備考
183324	OR2-2	2048	拓本類	胆沢城東瓦の拓本と彩色復元図				2	どちらも69×91	東瓦断片を配置し形状を復元したものと、それを元にした彩色復元図
183325	OR2-2	2049	拓本	①向鶴丸瓦 ②天保通寶 絵銭				2	①34×43 ②15×30	①向鶴は拓本4個分、1個用紙から切り取り
183326	OR2-2	2050	雑品	乾板写真のガラス				1	10.8×8.0	写真乳剤はほぼ残っていない 着色していた?新聞紙あり
183327	OR2-2	2051	貨幣	南部仰宝大字銭大極印				1	径2.9	大迫銭座山内通用銭 銅銭
183328	OR2-2	2052	貨幣	南部仰宝大字銭大極印				1	径2.9	大迫銭座山内通用銭 銅銭
183329	OR2-2	2053	貨幣	寛永通寶鉄四文銭 4枚				4	いずれも径2.8	4枚紐で括っている
183330	OR2-2	2054	貨幣	咸平元宝(北宋998)	北宋 998年			1	径2.5	一部欠損
183331	OR2-2	2055	貨幣	咸平元宝(北宋998)	北宋 998年			1	径2.5	完形
183332	OR2-2	2056	貨幣	絵銭 松梅天神銭				1	径2.6	
183333	OR2-2	2057	貨幣	寛永通寶銅一文銭(新寛永)				1	径1.7(現況)	周囲を削り取っている
183334	OR2-2	2058	貨幣	撲鉢銭 銭種不明				1	径1.8	いわゆる「リング銭」の状態 銅銭
183335	OR2-2	2059	貨幣	穴あき銅銭 銭種不明				1	長2.1 破片	1/4程度の破片
183336	OR2-2	2060	貨幣	一分銅貨 中華民國5年	1916年			1	径2.5	中華民國の貨幣
183337	OR2-2	2061	貨幣	元豐通寶(北宋1078)	北宋1078年			1	径2.4	
183338	OR2-2	2062	貨幣	寛永通寶銅一文銭(古寛永)				1	径2.4	布袋に入っていた(OR-2-2 2062~2072 (1枚) 袋書き「二戸郡浄法寺村 小田島藤郎様 農産種子「モリオカ 新小路 小田島末」
183339	OR2-2	2063	貨幣	寛永通寶鉄四文銭(背盛?)				1	径2.9	布袋に入っていた
183340	OR2-2	2064	貨幣	寛永通寶鉄四文銭(背盛)				1	径2.9	布袋に入っていた
183341	OR2-2	2065	貨幣	寛永通寶鉄四文銭(背盛?)				1	径2.9	布袋に入っていた
183342	OR2-2	2066	貨幣	寛永通寶鉄四文銭(背盛?)				1	径2.9	布袋に入っていた
183343	OR2-2	2067	貨幣	寛永通寶銅一文銭(背文)				1	径2.5	布袋に入っていた
183344	OR2-2	2068	貨幣	寛永通寶銅一文銭(背文)				1	径2.5	布袋に入っていた
183345	OR2-2	2069	貨幣	寛永通寶銅一文銭(背文)				1	径2.5	布袋に入っていた
183346	OR2-2	2070	貨幣	寛永通寶銅一文銭(新寛永)				1	径2.5	布袋に入っていた
183347	OR2-2	2071	貨幣	寛永通寶銅一文銭(新寛永)				1	径2.4	銭被熱している 布袋に入っていた
183348	OR2-2	2072	貨幣	寛永通寶銅一文銭(新寛永)				1	径2.4	銭被熱している 布袋に入っていた
183349	OR2-2	2073	貨幣	永楽通寶				1	径2.5	本銭
183351	OR2-2	2075	貨幣	寛永通寶鉄一文銭				1	1.8 欠損	保存処理へー①A NO. 1
183352	OR2-2	2076	貨幣	寛永通寶鉄一文銭				1	径2.0	保存処理へー①A NO. 2
183353	OR2-2	2077	貨幣	寛永通寶鉄一文銭				1	径2.2	保存処理へー①A NO. 3
183354	OR2-2	2078	貨幣	寛永通寶鉄一文銭				1	径2.4	保存処理へー①A NO. 4
183355	OR2-2	2079	貨幣	寛永通寶鉄一文銭				1	径2.2	保存処理へー①A NO. 5
183356	OR2-2	2080	貨幣	寛永通寶鉄一文銭				1	径2.3	保存処理へー①A NO. 6
183357	OR2-2	2081	貨幣	寛永通寶鉄一文銭				1	径2.1	保存処理へー⑥ I
183363	OR2-2	2087	和銭	南天文方銭	近世			1	15×7.5	「人見和泉樓堂次」
183364	OR2-2	2088	和銭	蓮文方銭	近世			1	8.5×5.1	「岸本吉孝」
183365	OR2-2	2089	和銭	南天文柄銭	近世			1	全長16 径9	「野田肥前守藤原吉政」
183366	OR2-2	2090	和銭	秋草朝日文方銭	近世			1	9.0×6.1	銘不明様
183367	OR2-2	2091	和銭	蓬葉鳥文柄銭	近世			1	径8 現長11	「藤原義勝」柄は途中で折損
183368	OR2-2	2092	和銭	家紋柄銭	近世			1	径13.3 全長23	「天下一木村正則」
183369	OR2-2	2093	和銭	梅文柄銭	近世			1	径13.7 全長24	「天下一山城」
183370	OR2-2	2094	和銭	蓬葉文円銭	近世			1	径13.5	花嫁道具の類
183371	OR2-2	2095	和銭	蓬葉文円銭	近世			1	径11.8	花嫁道具の類
183372	OR2-2	2096	和銭	桔梗菊文柄銭	近世			1	径6 全長11	「藤原作」
183373	OR2-2	2097	和銭	家紋雲文方銭	近世			1	5.5×8	「天下一作」
183374	OR2-2	2098	飾金具	煙草入れ等の飾金具 馬の意匠				1	3.5×1.5	銅製品
183375	OR2-2	2099	金具	環状の金具 草花の文様				1	直径5.0	真鍮製品
183440	OR2-2	2164	石器	石器 出土地未詳不明				1	長3.5	注記 ST-90-10-657
183441	OR2-2	2165	石器	石器3点 出土地未詳不明				3	長6.1他	注記 ST-90-10-658
183442	OR2-2	2166	石器	①石槌 ②石槌? ③スクレーパー 出土地未詳不明				3	①4.7×2.2 ②5.3×2.8 ③5.0×3.8	注記 ST-90-10-659
183443	OR2-2	2167	磨製石斧	石器 出土地未詳不明				1	7.7×4.9×172.2g	注記 ST-90-10-660
183444	OR2-2	2168	磨石	石器 出土地未詳不明				1	6.2×6.2×332g	注記 ST-90-10-661
183445	OR2-2	2169	陶器碗	大堀相馬産陶器碗 出土地未詳不明	近世			1	2.0×2.7	注記 cm-90-10-066
183447	OR2-2	2171	陶器碗	「正城寺」大堀相馬産陶器碗	近世			1	3.4g	「生城寺」と注記がある。詳しい来歴出土地不明
183448	OR2-2	2172	土師器坏	口ク内黒坏 出土地未詳不明	9世紀代			1	底径6.5	注記 Hw-90-10-125
183449	OR2-2	2173	陶器皿	型おこし輪花皿(素焼き状態)	近世末~近代	出土地不明		1	口径9.5	注記 P-90-10-073
183450	OR2-2	2174	陶器皿	型おこし輪花皿(素焼き状態)	近世末~近代	出土地不明		1	口径10.3	注記 P-90-10-074
183451	OR2-2	2175	陶器植木鉢	植木鉢(素焼き状態)	近世末~近代	注記「胆沢城 三、六、二四」 庭部		1	底径10.0	
183452	OR2-2	2176	陶器皿	型おこし角皿(素焼き状態)	近世末~近代	出土地不明		1	口径8.4	注記 P-90-10-075
183453	OR2-2	2177	磁器急須	磁器染付急須破片同一個体2破片	近代~			1	2.7他	遺跡出土物か否か不明
183457	OR2-2	2181	琥珀	砕けた琥珀原石?				一括	破片	遺跡出土物か否か不明
183458	OR2-2	2182	牙齒	歯「館遺跡 2. 5. 22」				1	3.2g	館遺跡一宮古市か 詳細不明
183467	OR2-2	2191	窯道具	瓦窯の窯道具と思われる				1	45.8g	注記 etc-90-10-049
183468	OR2-2	2192	鉄滓	出土地未詳不明				1	長3.2	注記 etc-90-10-050

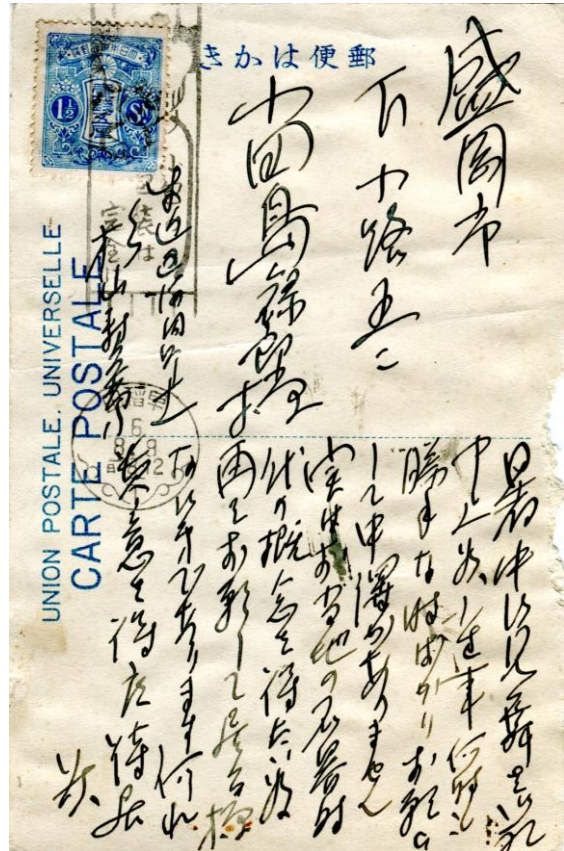
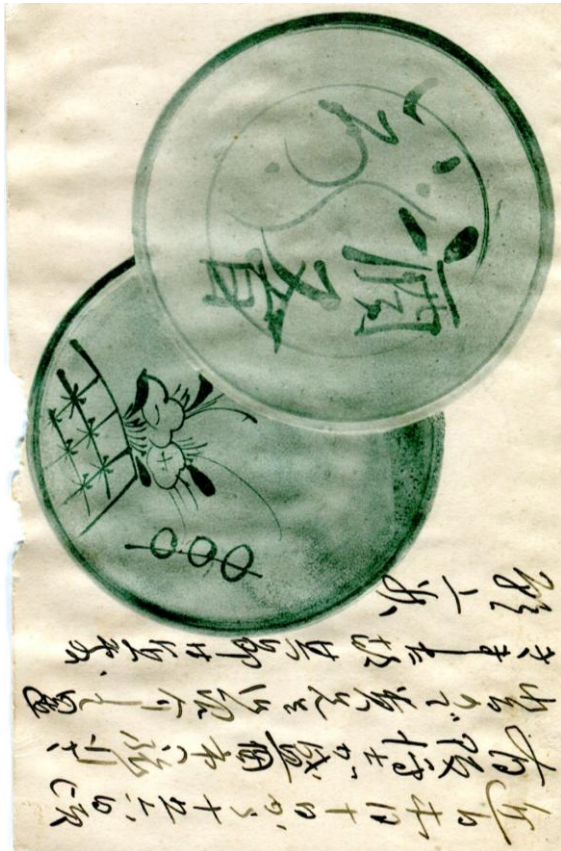
登録番号	コレクション シヨン 分類	番号	種別	標題	作成年月日	作成者(発信)	宛名	数量	法量	備考
183469	OR2-2	2193	鉄滓	鍛冶滓 出土地未歴不明				1	5.1g	注記 etc-90-10-051
183470	OR2-2	2194	炉壁	製鉄炉壁か 出土地未歴不明				1	長5.4	注記 etc-90-10-052
183472	OR2-2	2198	瓦	軒平瓦 採集地未歴不明				1	長9.1	注記 RT-90-10-139 いぶし瓦
183473	OR2-2	2197	窯道具	桔槔台 採集地未歴不明	近世～近代			1	155.3g	注記 etc-90-10-048
183474	OR2-2	2198	瓦器	煙炉破片 採集地未歴不明	近世～近代			2	7.0×22.0	注記 P-90-10-076
183475	OR2-2	2199	窯道具	瓦窯の窯道具と思われる 採集地未歴不明	近世～近代			1	15.3×4.3	注記 RT-90-10-140 いぶし瓦と同じ質感 取手付の栓
183481	OR2-2	2205	アスファルト?	自然アスファルトか				1	長さ6.8	注記 etc-90-10-057
183482	OR2-2	2206	種子	モダマ種子				1	6.0×4.7×33.1g	モダマ→沖繩など南方の豆科の植物 巨大な種子が特徴
183483	OR2-2	2207	貝殻標本	手づくり貝殻標本				1	30×30	36個の標本入る仕切り 中身は入れ替わっているか
183484	OR2-2	2208	骨角器	鹿角製櫛 出土遺跡未歴不明	縄文後期～晩期			1	2.6×1.7	注記 ShO-90-15-067
183514	OR2-2	2238	石器	異形石器「野里」				1	長3.5	米里村野里出土か



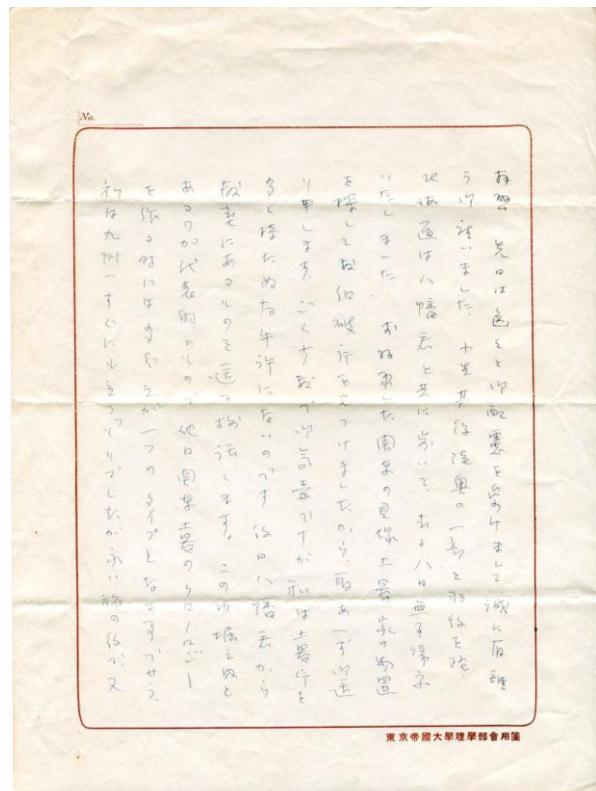
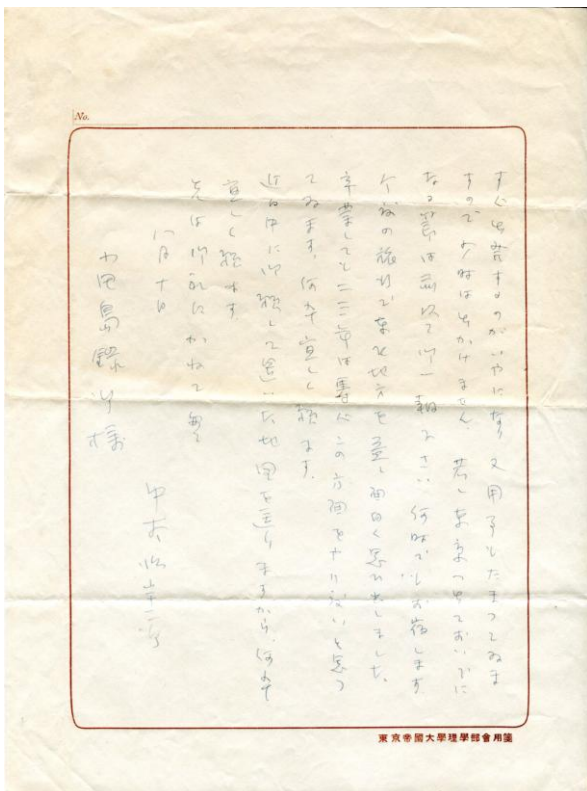
OR2-2-22 ハガキ 東北北海道の旅程①（喜田貞吉より小田島あて）



OR2-2-23 ハガキ 東北北海道の旅程②（喜田貞吉より小田島あて）



OR2-2-58 ハガキ 有坂博士来盛について (杉山寿栄男より小田島あて)



OR2-2-71 書簡 関東の貝塚土器を送る (中谷治宇二郎より小田島あて)

OR2-2-108 「金鷄山の掘削に関わる問い合わせに対する照会」

岩手県學務部長から小田島祿郎史蹟天然記念物調査委員への照会文書

社兵號外

昭和四年十一月廿二日

調査委員 小田島 祿郎殿

岩手縣學務部長

一關町石橋ホテル滞在齋尾保雄ヨリ別紙寫ノ通申來候ニ就テハ貴職ノ取りタル處置並ニ意見等折り返シ御回報相成度

昭和四年十月ヨリ本縣東磐井郡西磐井郡地方ニ於テ機械的に鑛脈鑛床ノ測定中偶々西磐井郡平泉村字花立四十九番地ノ三、民有林一、反別參町七反六畝拾歩ノ土地内一局部分ニ於テ特殊ノ電導現象ヲ認メ再三反覆調査セルニ其自發電導ノ示度關係に鑑ミ一步進ンテ研究ノ必要アルコトヲ認メタルヲ以テ地主同村千葉慶潤氏ノ承諾ヲ得他方史蹟名勝各指定地域以外ノ土地ナルコトモ嚴査シタル結果該局部地点に限り試錐又鑿井ヲ試シタク其設計ノ央去ル十一月十日至リテ岩手縣史蹟名勝天然記念物調査委員ト稱スル小田島祿郎氏ハ縣ノ名ニ依リテ該設計ノ進行ヲ禁止サレタル也、一民有地ニシテ而カモ指定地以外タル土地ノ施設ニ對シテ斯ノ如キコトハ他ノ府縣ニ於イテハ曾て其ノ類例ヲ見ルコトナシ新進ノ研究ヲ抑ヘ啓發ヲ塞グガ如キ處置ハ聊カ（いささか）世ノ進運ニ伴ハザルノ、キライナキニアラザルナキヤヲ疑フモノ也
希クハ國家ノ大義ニ鑑ミ正大ナル御裁定ヲ仰ギタク謹ミテ陳情致シ候也

昭和四年十一月二十日

岩手縣西磐井郡一ノ關町石橋ホテル滞在
東京市外和田堀町和田百壺番地
齋尾保雄

OR2-2-109 「金鷄山保護ニ関する件」

岩手県學務部長からの照会に対する小田島祿郎の回答（史蹟名称天然記念物調査会長あて）

昭和四年十一月二十三日

委員 小田島祿郎

岩手縣史蹟名勝天然記念物調査會長 栗田五百枝殿

金鷄山保護ニ関スル件

昨日附御照会ノ件ハ去ル十月岩谷堂高等女学校地理歴史协会会员数十名引率中尊寺ヲ視察ノ上千手院ニ至リ更ニ有名ナル金鷄山ニ登リテ眼下ニ展開サレアル平泉ノ旧蹟及同所経塚ニツキ説明中地主ナル同院住職參リ東京市某氏機械据付測定ノ結果此ノ地点ニ（経塚ノ一部ヲ示シ）何物カ埋藏サレ居リ有望ナルヲ以テ利益折半ノ約ニテ発掘方希望サレ承諾セル旨語レルヲ以テ（以上地主談）（照会ニアルガ如キ該局部地点ニ限り試錐又ハ鑿井ヲ試シタキ希望ニツキテハ何等述ブル処無カリシ次第ニ候コハ多数ノ生徒及中尊寺ヨリ特ニ案内旁ニ見送り呉レタル某師モ聞キ居タルコトニ候又事実地主ト利益折半ニテ鑿井ナドスルモノハ之レ無カルベク候）其際余ハ此ノ遺跡ハ傳説ニアルガ如キ黄金万杯漆万 杯ヲ埋メタルモノニアラス 其位置、築造法、宗派等ヨリ考定スレバ正ニ経筒經甕類ヲ埋メ大石塚ヲ築造セルモノト思ハルレバ 発掘スルモ予期セルガ如キ高価ナルモノ出土セザルベク多クハ銅経筒銅鏡腐植セル経巻刀劔佛具類ヲ出スモノナレバ破壊シ去ルヨリハ地方ノ為メ保存セラレ度旨希望シ且發掘スルモ遺物ハ埋藏物法ニヨリ届出ノ要アレバ直チニ發掘者ニヨリテ配分セラルベキモノニアラサル旨モ附加シ置キタル筈ニ候

事実本縣ニ於ケル此種経塚ハ和賀郡十二箇村熊野神社境内及二戸郡浄法寺村天台寺等殆ント發掘破壊サレタル今日ニアリテハ金鷄山ハ縣内稀ニ遺存セルモノニ属シ少ナクトモ縣ニ於テ保護スベキ必要有之事ト被存候最近丘上ノ石塚ヲ削平シ小祠ヲ建テタルモノ有之著形態ヲ損ゼルダニ痛歎スベキニ又復一時ノ利欲ヨリ發掘スルガ如キハ忌々シキ次第ト被存候云フ迄モ平泉一帯ノ地ハ縣下史蹟中最モ著名ナルモノニ有之地方繁榮上ニモ極メテ密接ノ關係アル地点ナレバ未タ指定セサルモノト云モ努メテ旧態ヲ遺存セシメ各種ノ遺跡ヲ網羅セシメ置ク様指導スルノ緊要ナルヲ認メルヲ申候殊ニ金鷄山ノ如ク一面風致ニモ影響スルモノニアリテハ宜敷ニ縣ニ於テ保存ノ目的ニテ調査中ノ理由ノ許ニ發掘ヲ差控シメ追テ適當ノ方法ヲ講セラレ度尚右發掘計劃ハ役場警察署其他保勝会等ニアリテモ未タ聞知セザルコトト被存候 間之等ニモ急報保護ニカムル様御注意相成度此段御回答旁々卑見申添置候

追フテ右金鷄山ニ黄金傳説ノ外黄金ノ鷄ヲ埋メ置ケル由モ傳ラレ又山麓ヨリハ甕ニ入レアリシ夜光ノ玉ヲ發掘セシ説モ有之古クヨリ狙ワレテ居ル地点ニ有之候

OR2-2-112 「金鷄山調査報告書」に同封資料

小田島祿郎委員から史蹟名勝記念物調査會長への金鷄山盜掘発見届け

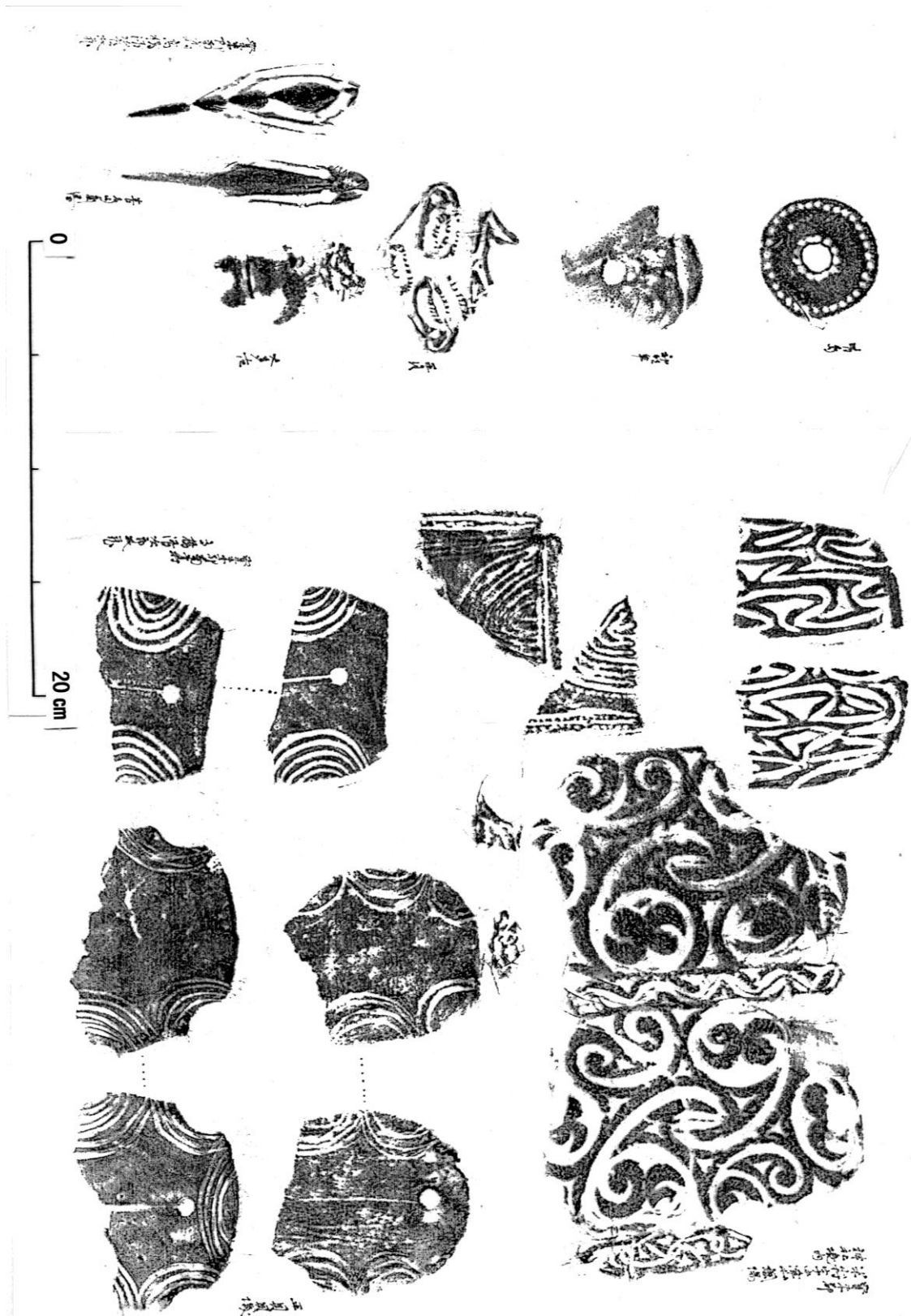
昭和五年三月四日

委員 小田島祿郎

岩手縣史蹟名勝記念物調査會長 栗田五百枝 殿

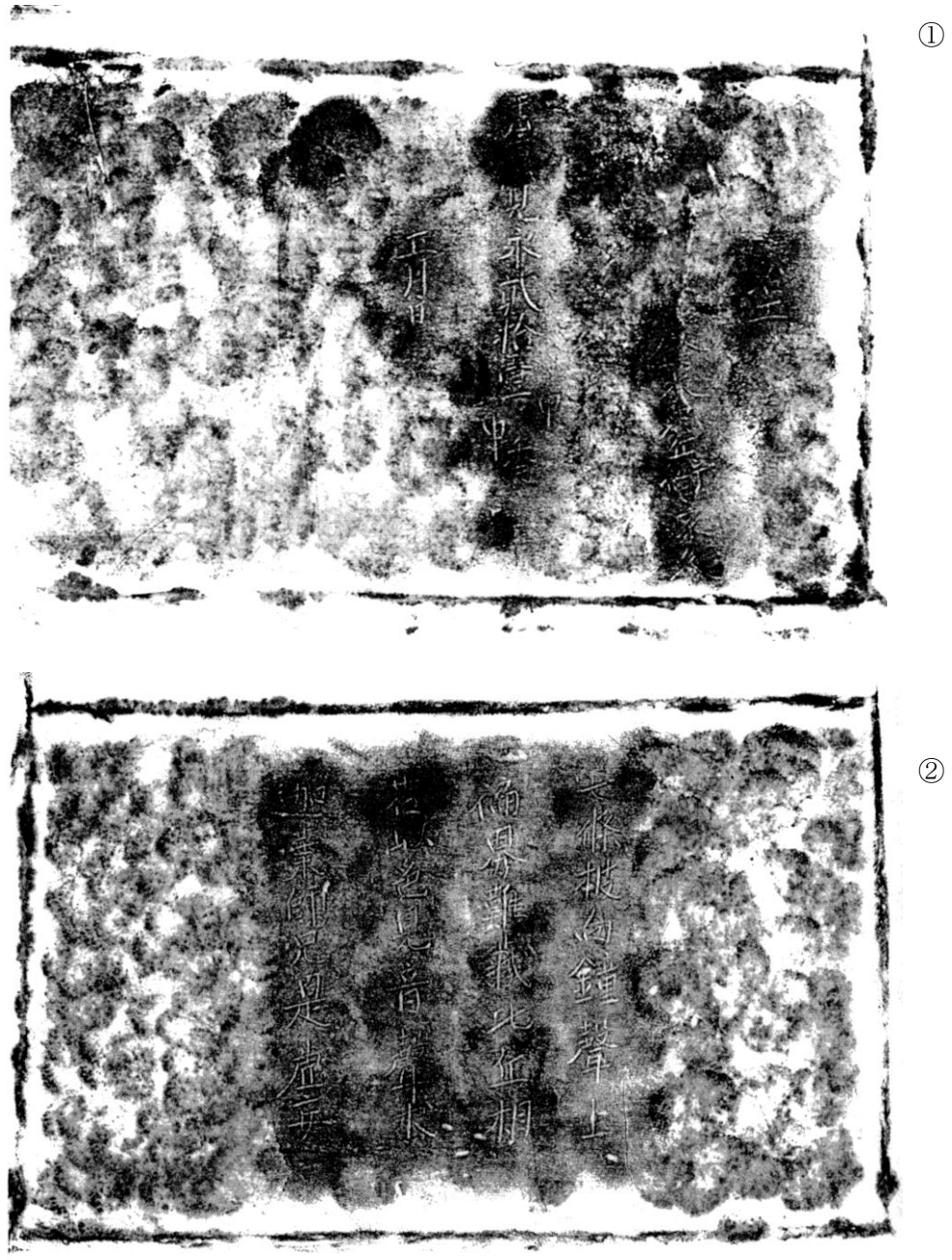
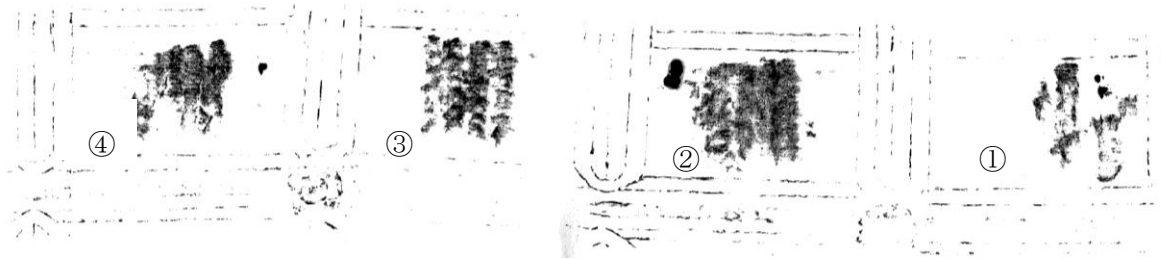
盜掘発見報告ノ件

去月二十三日金鷄山調査ノ際其の北麓（字花立葛西屋敷ト称スル地点ノ直チニ南）ニ於テ古墳墓ト思ハ
ルル大石塚ノ發掘サレアルモノヲ發見致候ニツキ及御報告候也 追テ右地点ハ小立ナル上当時積雪モア
リテ充分ノ調査致カネ候ヘトモ 他ニモ同種ノ塚有之其等ノ中最大ナルモノ盜掘ノ厄ニ遭ヒシ様被存候
時期は昨年秋頃カト被存候

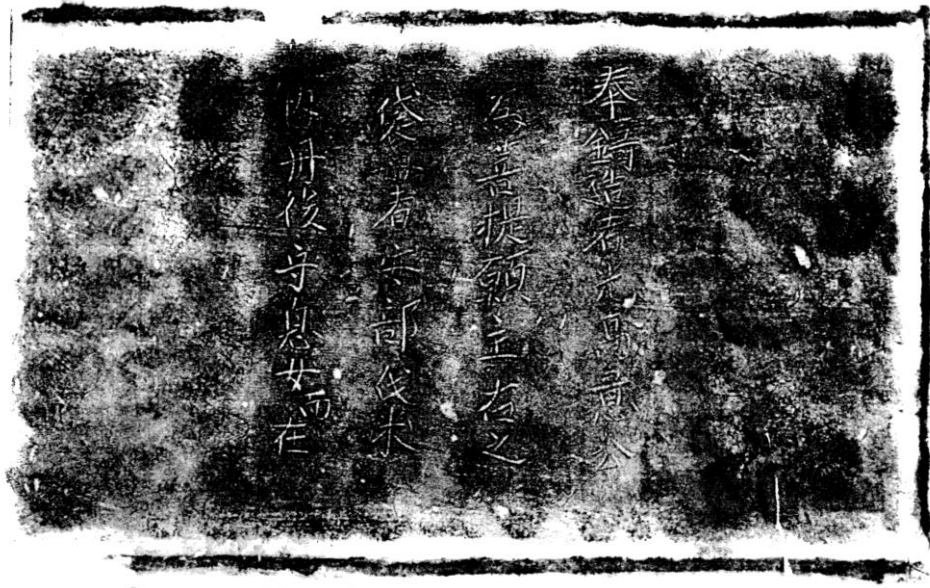


OR2-2-2008 拓本

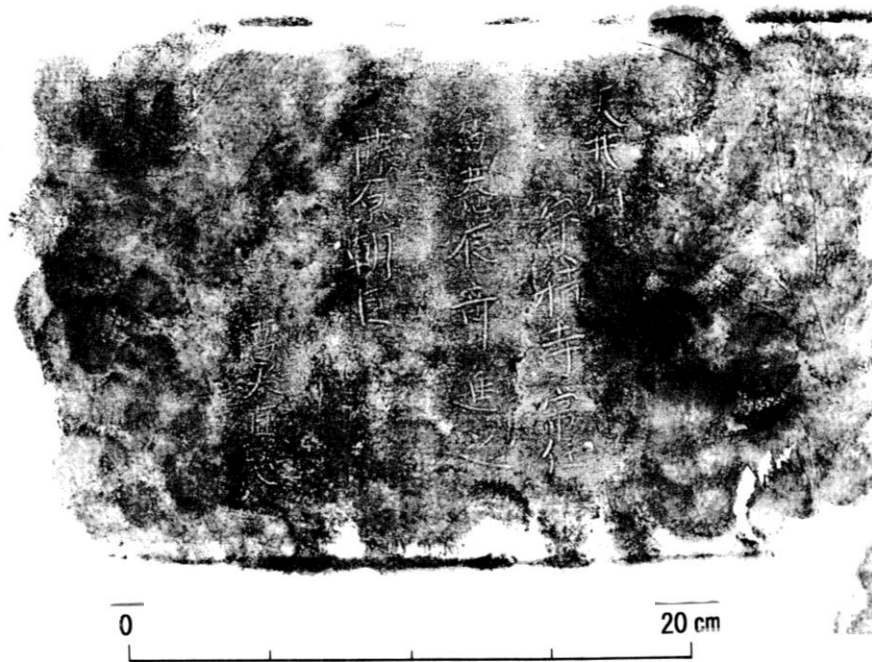
「登米郡南方村高橋清次郎蔵」「登米郡米山村中津山網場神社境内」
 岩版拓本、「平貝貝塚」土版拓本、「青島」土製品拓本、「初形？草」
 土偶？拓本、「平貝」土偶拓本、「大多古」土偶拓本、「青島角器」



OR2-2-2012 拓本 寶積寺梵鐘（一方井村）その1



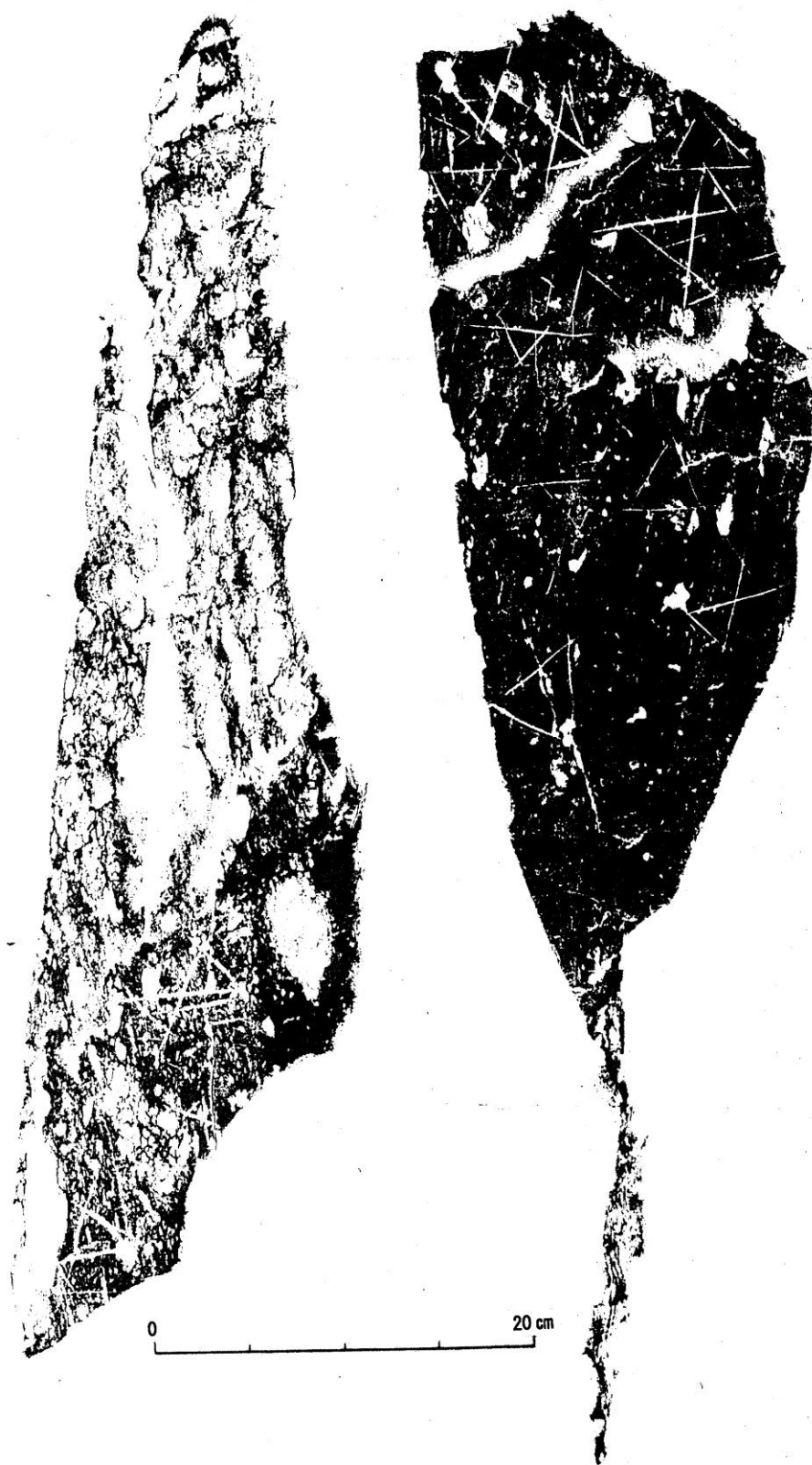
③



④

^{ほうしゆくじ}
 寶積寺は岩手県岩手町一方井に所在の寺院である。拓本の寛永 21 年（1644）銘の梵鐘は、太平洋戦争時金属供出され、原品は失われている。

OR2-2-2012 拓本 寶積寺梵鐘（一方井村）その 2



OR2-2-2014 拓本

「大正六年四月 登米郡北方村船越上ノ台出土」(鮭石の類か)

岩手県立博物館収蔵資料目録
第 27 集

考古Ⅹ

小田島コレクション 2 次 その 2

平成 27 年 3 月 31 日

編 集： 岩 手 県 立 博 物 館
〒020-0102 盛岡市上田字松屋敷 34
Tel 019-661-2831 Fax 019-665-1214

発 行： 公益財団法人岩手県文化振興事業団
〒020-0023 盛岡市内丸 13-1
Tel 019-654-2235